

2018年3月期 決算説明会資料

2018年6月6日



ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

東証1部 証券コード 6059





【ハイライト】 当期の業績と今後の戦略

I. 2018年3月期 の実績 P 3～

II. 2019年3月期の予想 P16～

III. 中期経営計画の進捗状況 P22～

【参考資料】 P37～



【ハイライト】 当期の業績と今後の戦略

当期の業績

介護事業の伸長により、増収増益

- ⇒ 介護事業、カラオケ事業、飲食事業間において、相互のシナジー効果を向上させるよう様々な取り組みを企画・実践し、積極的にサービスの付加価値向上に努める一方で、コスト削減の推進により経営の効率化を行い、業績の安定化を図る

今後の戦略


【中期経営計画】介護事業を積極的に拡大しています。

- 2016年度からの3カ年を、「長期ビジョン」を実現するための基盤整備の期間と位置づけて、経営を推進

【長期ビジョン】・連結売上高1,000億円・連結営業利益100億円を目指す

- 今後も「介護事業」を「成長の原動力」と位置づけて、積極的な拡大を図る
 - ①新規施設の開設強化
 - ②施設が持つ潜在力を的確に見極めたM&Aの推進
 - ③産学官連携によるサービス品質の向上
 - ④新規事業開発の推進（さわやか愛の家 など）





I . 2018年3月期の実績

1. 2018年3月期 連結決算概要

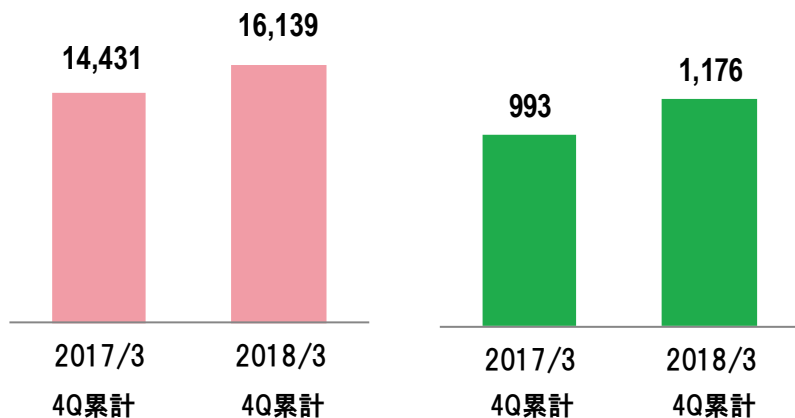
	2017/3期		2018/3期		前期比 (%)
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	
売上高(百万円)	25,318	100.0	26,402	100.0	104.3
営業利益(百万円)	777	3.1	1,191	4.5	153.3
経常利益(百万円)	1,008	4.0	1,352	5.1	134.1
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	59	0.2	808	3.1	1,369.5
1株当たり純利益(円)	3.10	-	41.83	-	-
1株当たり配当金(円)	10	-	10	-	-
ROE(%)	0.4	-	5.4	-	-
施設・店舗数					
介護施設(カ所)	81	-	95	-	14
カラオケ店舗(店舗)	96	-	92	-	△4
飲食店舗(店舗)	26	-	23	-	△3

- 介護施設が順調に増加し、売上高は4.3%の増収
- 利益面では、介護付有料老人ホーム既存施設2施設のセールアンドリースバック取引等により特別利益441百万円を計上する一方で、固定資産の帳簿価格を回収可能価格まで減損処理したことに伴う減損469百万円を計上

2. 介護事業 ① サマリー

(単位: 百万円)

	2017/3 4Q累計	2018/3 4Q累計	増減
売上高	14,431	16,139	+11.8%
セグメント利益	993	1,176	+18.5%
セグメント利益率	6.9%	7.3%	+0.4point



● 介護付有料老人ホーム8カ所、ショートステイ2事業所、障がい者通所支援事業放課後等デイサービス7事業所(愛の家:うち生活介護1事業所)、相談支援事業所1事業所を新規開設。営業拠点は95カ所169事業所に拡大し、売上高は増加

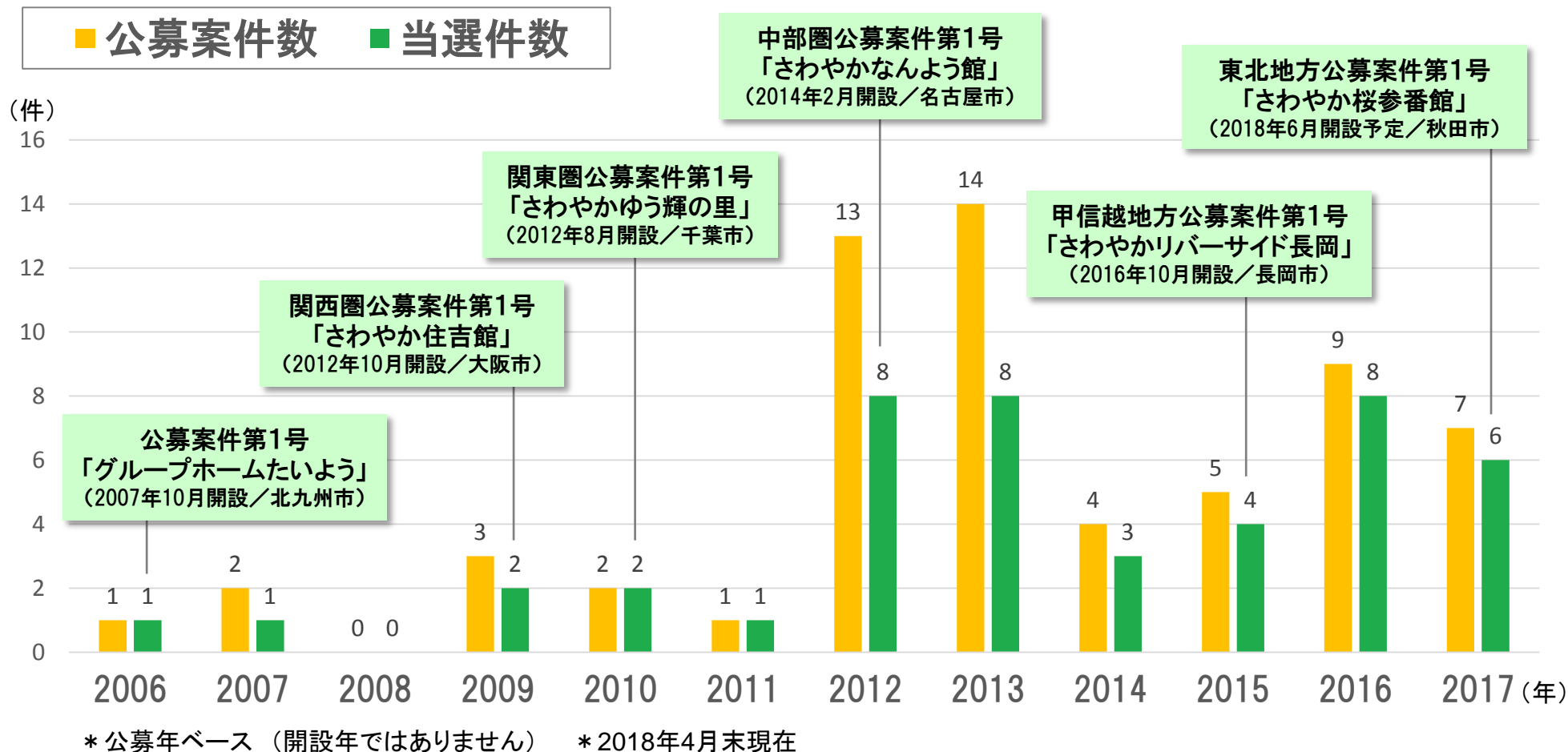
● 介護付有料老人ホームの既存施設は入居率98.2%を確保(2018年3月末時点)

※入居率=入居人数÷ベッド数、開設1年以上経過した施設のみで計算

介護付有料老人ホーム・グループホーム	2017年6月開設	さわやかシーサイドくきのうみ (福岡県北九州市)	介護付き有料老人ホーム ショートステイ	80床 10床
	2017年10月開設	さわやかグループホームはなみずき (千葉県千葉市)	グループホーム	18名
	2017年11月開設	さわやかさがみはら館 (神奈川県相模原市)	介護付き有料老人ホーム	67名
	2017年12月開設	さわやかはままつ館 (静岡県浜松市)	介護付き有料老人ホーム	60床
	2018年2月開設	さわやかひだか館 (埼玉県日高市)	介護付き有料老人ホーム	52床
	2018年2月開設	さわやかくまがや館 (埼玉県熊谷市)	介護付き有料老人ホーム	54床
	2018年2月開設	さわやか和歌山館 (和歌山県和歌山市)	介護付き有料老人ホーム	60床
	2018年2月開設	さわやかひがしおおさか館 (大阪府東大阪市)	介護付き有料老人ホーム ショートステイ	94床 31床
	2018年3月開設	さわやかあおい館 (静岡県静岡市)	介護付き有料老人ホーム	60床
愛の家	2017年6月開設	さわやか愛の家せとうち館 (岡山県瀬戸内市)	放課後等デイサービス	10名
	2017年6月開設	さわやか愛の家にいはま館 (愛媛県新居浜市)	放課後等デイサービス	10名
	2017年8月開設	さわやか愛の家かんだ館 (福岡県京都郡)	放課後等デイサービス	10名
	2017年11月開設	さわやか愛の家あかいわ館 (岡山県赤磐市)	放課後等デイサービス	10名
	2017年12月開設	さわやか愛の家あさくら館 (福岡県朝倉市)	放課後等デイサービス	10名
	2018年1月開設	さわやか愛の家さいだいじ館 (岡山県岡山市)	生活介護	20名
	2018年1月開設	さわやか愛の家そうだんしつ (岡山県瀬戸内市)	相談支援事業所	—
	2018年2月開設	さわやか愛の家さいだいじ貳番館 (岡山県岡山市)	放課後等デイサービス	10名

2. 介護事業 ② 公募案件数と当選率の状況

公募案件への応募開始から12年累計で **当選率72.13%** と、**全国の行政から高い信頼を獲得**



公募とは、総量規制によって限られた数しかない介護付有料老人ホームの指定枠を、利用者にとってより安心して生活しやすい施設運営ができる事業者に付与するために、各市町村が主催して書面やプレゼン形式で評価するコンペ

2. 介護事業 ③ オペレーションと入居率

業界トップクラスの高オペレーション(運営)効率

高いオペレーション効率

【看護・介護職員1人当たり利用者数】

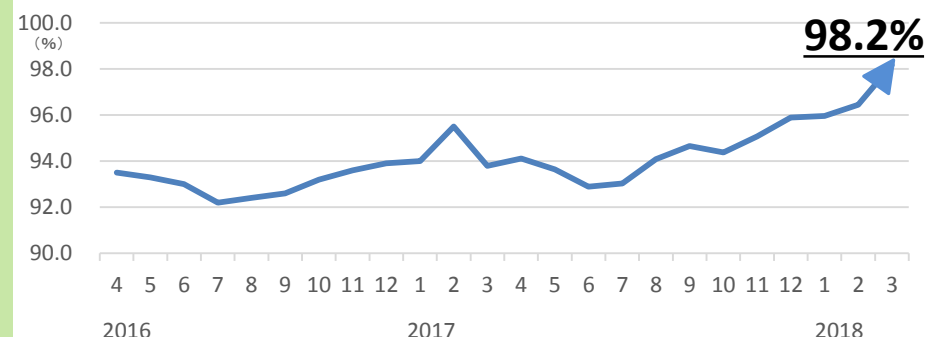
● 当社 2.5~2.7人

● 特定施設事業者平均 2.0人

(出所) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査(平成27年)」

堅調な入居率

【特定施設入居率(既存) 98.2%】



働きやすい
施設構造

満足度の高い
ホスピタリティ

入居・退居が
しやすいシステム

* 施設への入居一時金不要

入居者様・家族の
口コミによる
さわやかブランドの
浸透

2. 介護事業 ④ 展開状況

展開状況（2018年3月末現在）

- ☆: 特定施設入居者生活介護
- ◎: 住宅型有料老人ホーム
- : グループホーム
- ◇: デイサービス
- ▽: 障がい児通所支援事業放課後等デイサービス
- △: 小規模多機能型居宅介護
- : サービス付き高齢者向け住宅
- ※: 事業所内保育園

【福岡】
 ☆: 18カ所 (1,294名)
 ◎: 11カ所 (615名)
 ○: 9カ所 (142名)
 ◇: 16カ所 (445名)
 ▽: 9カ所 (85名)
 △: 4カ所 (100名)
 □: 1カ所 (103名)
 ※: 1カ所 (19名)

【大分】
 ☆: 1カ所 (48名)
 ◎: 2カ所 (86名)

【兵庫】 ☆: 1カ所 (68名)

【京都】
 ◎: 1カ所 (84名)
 ◇: 1カ所 (24名)

【新潟】
 ☆: 3カ所 (150名)
 ◎: 1カ所 (39名)
 ◇: 1カ所 (15名)

【愛媛】
 ☆: 1カ所 (130名)
 ◇: 1カ所 (25名)
 ▽: 1カ所 (10名)

【岡山】
 ○: 1カ所 (18名)
 ▽: 5カ所 (60名)

【三重】 ☆: 1カ所 (112名)

【愛知】 ☆: 3カ所 (220名)

【静岡】 ☆: 2カ所 (120名)

【千葉】 ☆: 3カ所 (250名)
 ○: 1カ所 (18名)

【神奈川】 ☆: 1カ所 (67名)

【埼玉】 ☆: 4カ所 (203名)

【栃木】
 ☆: 4カ所 (210名)
 ○: 1カ所 (18名)

【秋田】 ☆: 2カ所 (172名)

【北海道】
 ☆: 2カ所 (200名)
 ○: 1カ所 (18名)

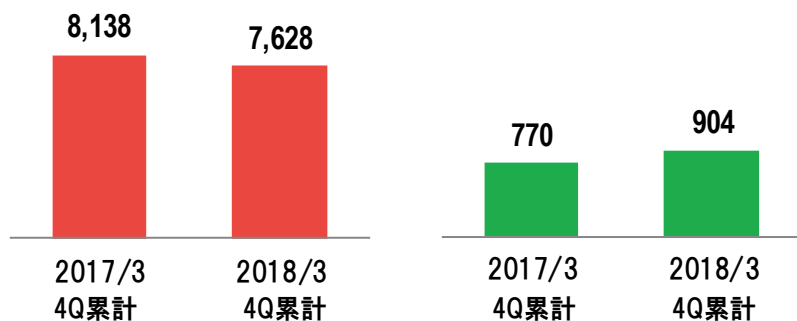
3. カラオケ事業 ① サマリー

(単位: 百万円)

	2017/3 4Q累計	2018/3 4Q累計	増減
売上高	8,138	7,628	△6.3%
セグメント利益	770	904	+17.4%
セグメント利益率	9.5%	11.9%	+2.4point

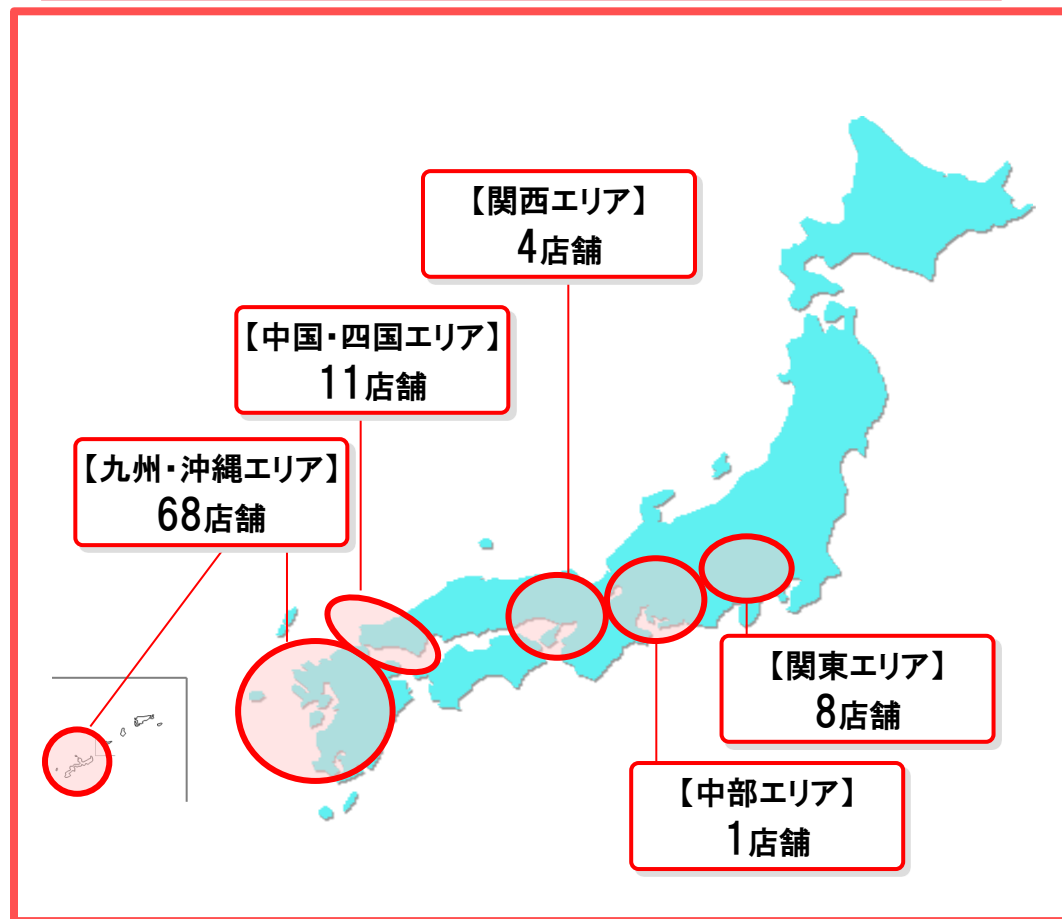
売上高(百万円)

セグメント利益(百万円)



- 飲み放題のコースなどの獲得強化に併せ、引き続きモバイル会員の勧誘を行うなどリピート客の増加を図ったほか、飲食店の情報サイトを積極活用し、集客の向上に努めた。
- 当期においては4店舗の退店を実施。

カラオケ事業の展開状況 合計92店舗 (2018年3月末現在)



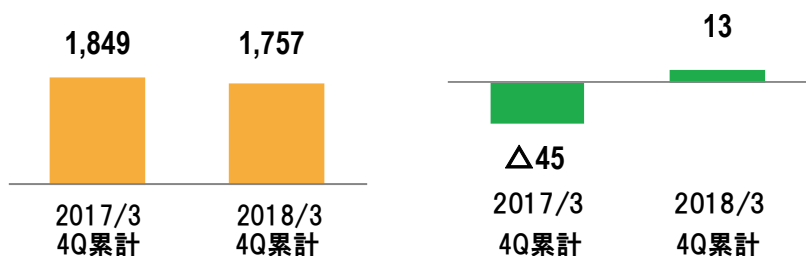
4. 飲食事業 ① サマリー

(単位: 百万円)

	2017/3 4Q累計	2018/3 4Q累計	増減
売上高	1,849	1,757	△5.0%
セグメント利益	△ 45	13	—
セグメント利益率	—	0.8	—

売上高(百万円)

セグメント利益(百万円)



- 新規出店を1店舗、既存店の業態変更を2店舗実施する一方で、4店舗を閉店。当期末の店舗数は国内20店舗、海外3店舗に
- 既存店ではタイムサービスの実施による集客の増加を図ったほか、法人顧客の獲得を目指し企業訪問を展開するなどして宴会需要等の獲得に努めるも、閉店に伴う集客減少になどから減収に



ハイボールバー銀天街1923 (福岡県北九州市小倉北区)

【新規出店】 2017年4月1日	鳥くらぶ西新店 (福岡県福岡市)	70席
【業態変更】 2017年5月23日	ハイボールバー銀天街1923 (福岡県北九州市)	64席
【業態変更】 2018年3月1日	フジヤマ桜 下通り店 (熊本県熊本市)	72席

4. 飲食事業 ② 展開状況

主要ブランド



その他のブランド



(店舗名:ハイボールバー銀天街1923)



(店舗名:鳥くらぶ)

海外

タイ 3店舗
かんてきや
スクンビット店
トンロー店
pronpon店



客単価 (1パーツ=3.0円)
昼: 約 320パーツ (約960円)
夜: 約 840パーツ (約2,520円)

地産・地消・地役

5. 要約損益計算書（連結）

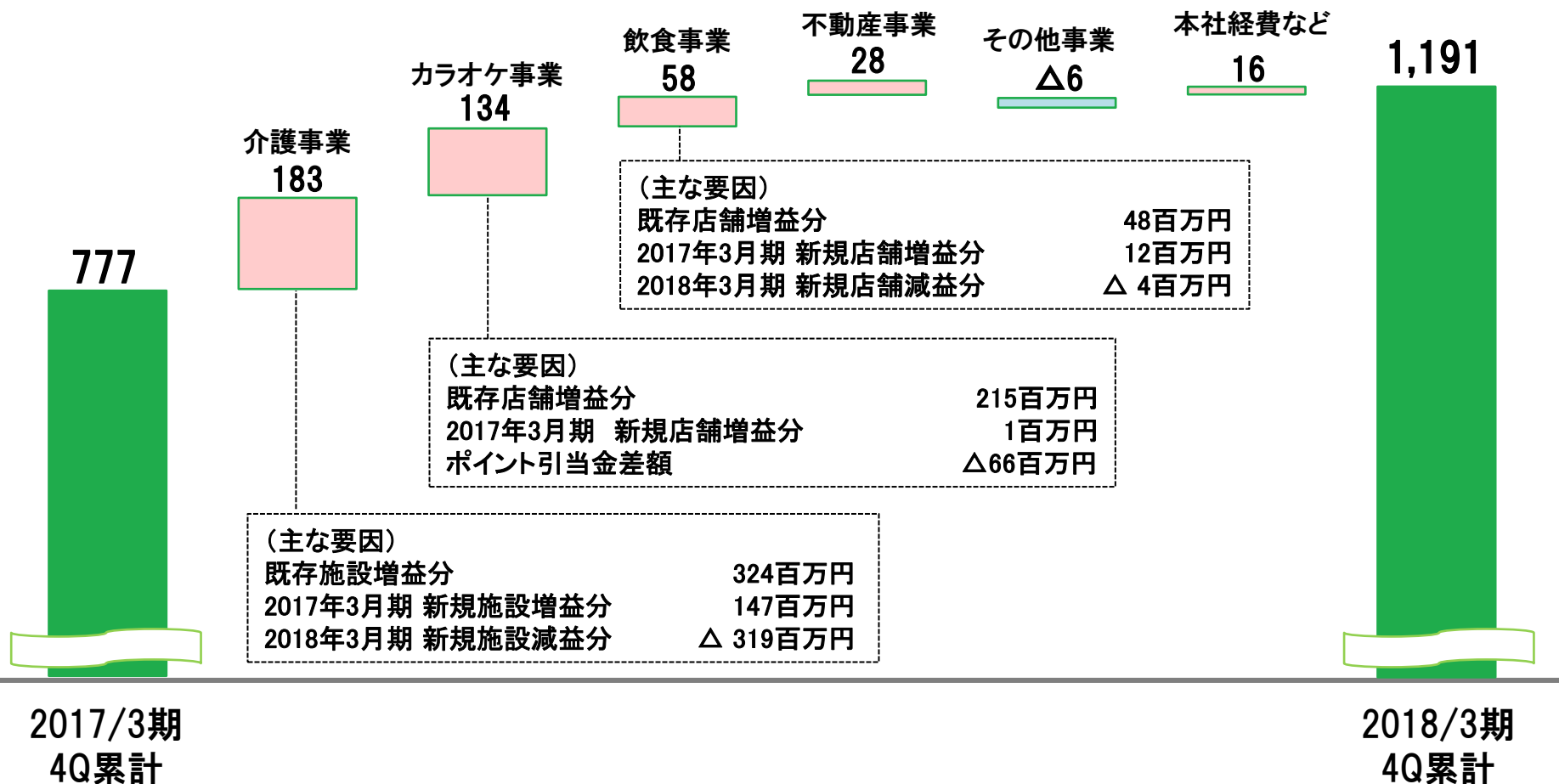
（単位：百万円）

	前期 (2017/3)	構成比 (%)	当期 (2018/3)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	25,318	100.0	26,402	100.0	104.3
売上原価	22,838	90.2	23,517	89.1	103.0
売上総利益	2,479	9.8	2,885	10.9	116.3
販売費及び一般管理費	1,702	6.7	1,693	6.4	99.5
営業利益	777	3.1	1,191	4.5	153.3
営業外収益	348	1.4	267	1.0	76.8
営業外費用	117	0.5	107	0.4	91.2
経常利益	1,008	4.0	1,352	5.1	134.1
特別利益	48	0.2	441	1.7	916.9
特別損失	917	3.5	552	2.1	60.3
税金等調整前当期純利益	139	0.6	1,240	4.7	889.5
法人税等	80	0.3	432	1.6	537.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	59	0.2	808	3.1	1,348.0

6. 営業利益 増減分析 (連結)

(単位:百万円)

+414百万円(53.3%増)



7. 要約貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

資産の部			
	2017/3 4Q末	2018/3 4Q末	増減額 (百万円)
流動資産	13,171	13,393	221
現金及び預金	9,249	9,315	65
たな卸資産	1,117	1,057	△60
固定資産	17,184	16,699	△ 484
有形固定資産	12,361	11,528	△ 832
建物及び構築物(純額)	7,721	7,281	△ 439
土地	3,629	3,390	△ 238
無形固定資産	45	77	31
投資その他の資産	4,776	5,093	316
資産合計	30,355	30,093	△ 262

負債/純資産の部			
	2017/3 4Q末	2018/3 4Q末	増減額 (百万円)
流動負債	6,256	6,470	213
短期借入金	844	751	△ 93
1年以内返済予定の 長期借入金	2,225	2,300	75
固定負債	9,304	8,225	△ 1,078
長期借入金	7,516	6,549	△ 967
負債合計	15,560	14,696	△ 864
(有利子負債)	11,727	10,505	△1,222
純資産合計	14,794	15,397	602
(自己資本比率)	48.7 %	51.2 %	2.5pt
(ネットD/Eレシオ)	0.17 倍	0.08 倍	△0.09
負債純資産合計	30,355	30,093	△ 262

※1 有利子負債＝短期借入金+1年内返済予定の長期借入金+設備未払金+1年内償還予定の社債+リース債務+長期借入金+長期設備未払金+社債


※2 自己資本比率＝(株主資本+その他の包括利益累計額)／負債純資産合計

※3 ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現金及び預金)／純資産合計

8. 要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2017/3 4Q累計	2018/3 4Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,795	2,070
税金等調整前当期純利益	139	1,240
減価償却費	1,198	1,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,878	△ 321
有形固定資産の取得による支出	△ 2,146	△ 2,446
有形固定資産の売却による収入	13	2,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 246	△ 1,686
配当金の支払額	△ 196	△ 193
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 331	65
現金及び現金同等物の期首残高	9,301	8,969
現金及び現金同等物の期末残高	8,969	9,034



Ⅱ. 2019年3月期の予想

1. 2019年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

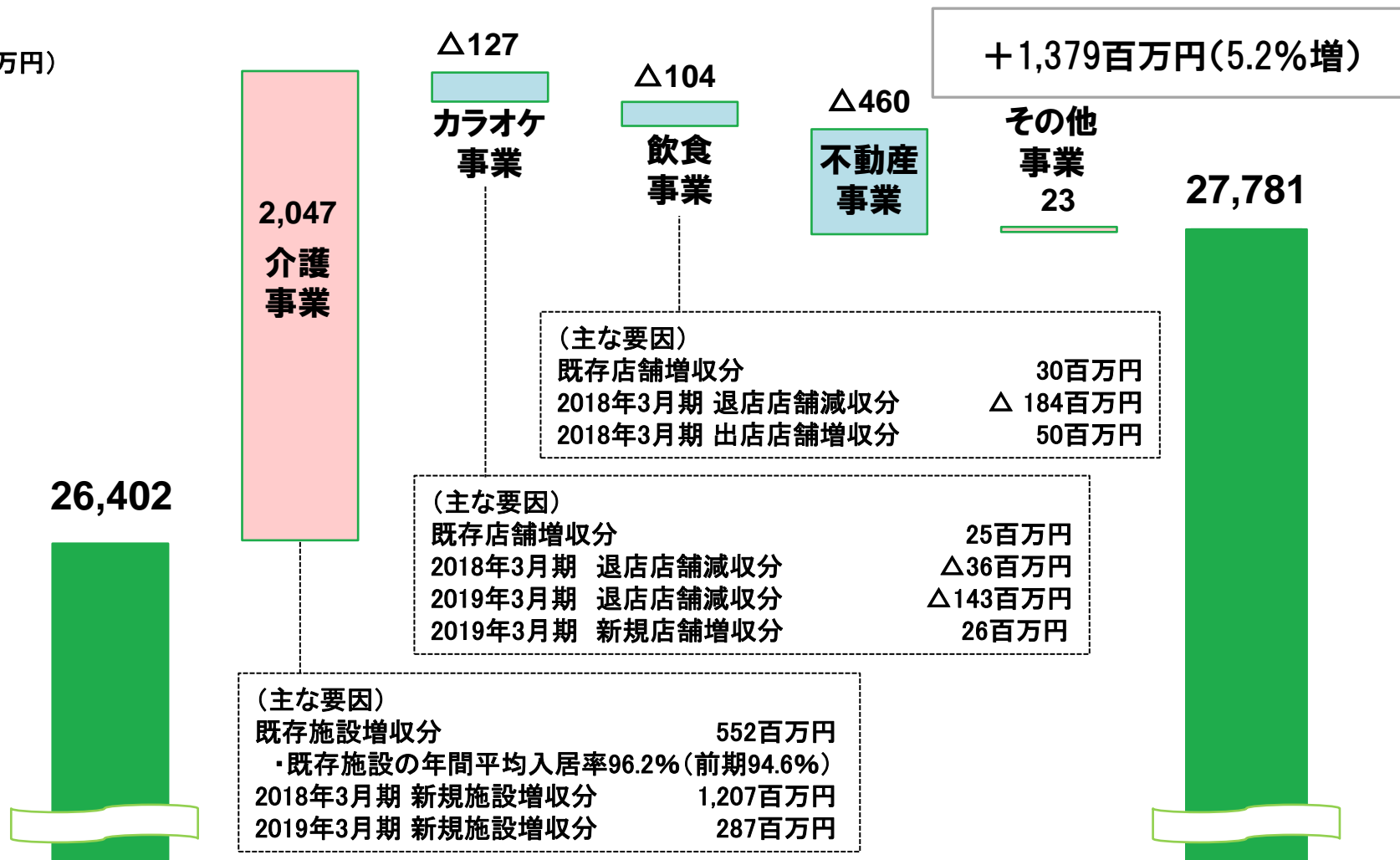
	前期(2018/3)		通期予想(2019/3)		前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	率(%)
売上高	26,402	100	27,781	100	1,379	5.2
営業利益	1,191	4.2	1,318	4.7	127	10.6
経常利益	1,352	4.0	1,371	4.9	19	1.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	808	2.6	881	2.9	73	9.1
1株当たり純利益(円)	41.83	-	45.62	-	3.79	-
1株当たり配当金(円)	10	-	10	-	0	-

2. セグメント別 予想の前提条件

	セグメント売上高 (前期比)	セグメント利益 (前期比)	
介護事業	18,186百万円 (112.7%)	1,402百万円 (119.1%)	新規開設 7カ所10事業所、258床 (うち愛の家3事業所) 期末施設数 102カ所5,541床 (うち、愛の家19事業所)
カラオケ事業	7,500百万円 (98.3%)	860百万円 (95.2%)	新規出店 1店舗 退店 3店舗 期末店舗数 90店舗
飲食事業	1,653百万円 (94.1%)	96百万円 (699.5%)	業態変更 1店舗 退店 2店舗 期末店舗数 21店舗 (国内19店舗、タイ2店舗)

3. 売上高(計画) 前年対比の内訳 (連結)

(単位:百万円)

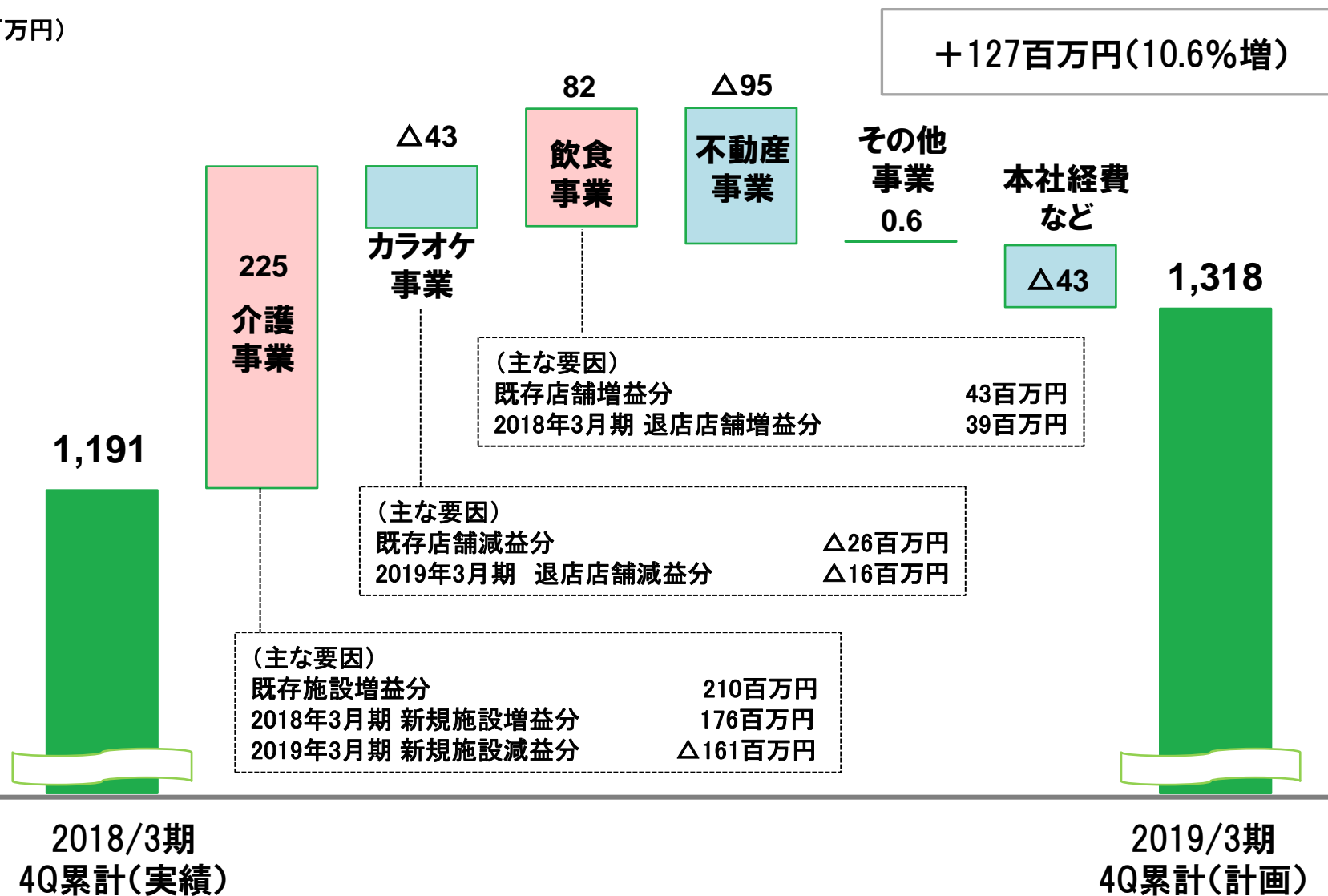


2018/3期
4Q累計(実績)

2019/3期
4Q累計(計画)

4. 営業利益(計画) 前年対比の内訳 (連結)

(単位:百万円)



5. 株主還元

配当金について

	第2四半期末	期末	合計	連結配当性向
2013年3月期（実績）	5円	5円	10円	13.2%
2014年3月期（実績）	5円	5円	10円	8.8%
2015年3月期（実績）	6円	5円	11円	18.4%
2016年3月期（実績）	5円	5円	10円	21.7%
2017年3月期（実績）	5円	5円	10円	322.9%
2018年3月期（実績）	5円	5円	10円	23.9%
2019年3月期（計画）	5円	5円	10円	21.9%

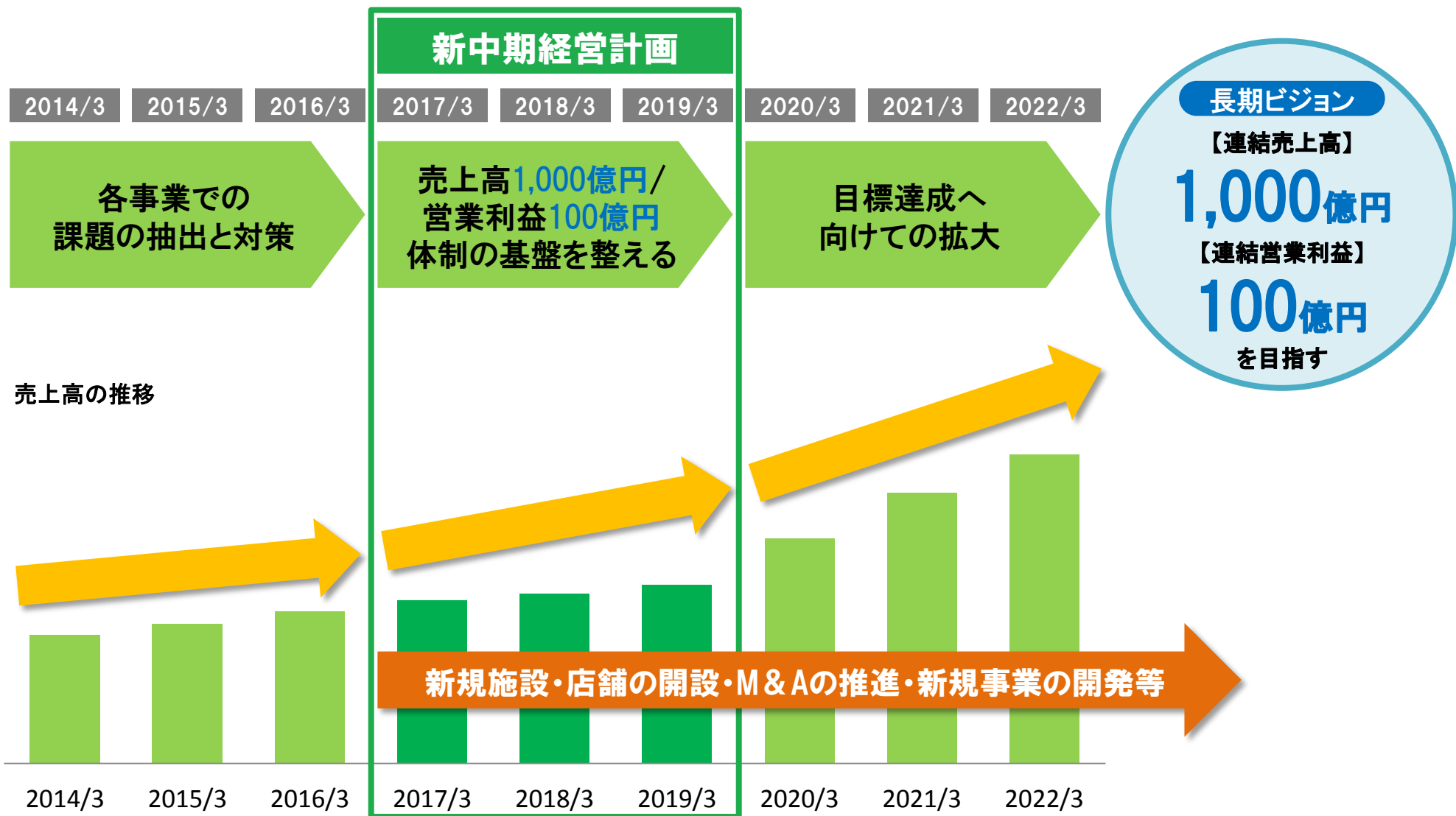
株主優待について

ご対象株主様	ご所有株式数	ご優待内容
毎年3月31日の株主様	400株以上	お米券 5kg分 (1kg券×5枚)



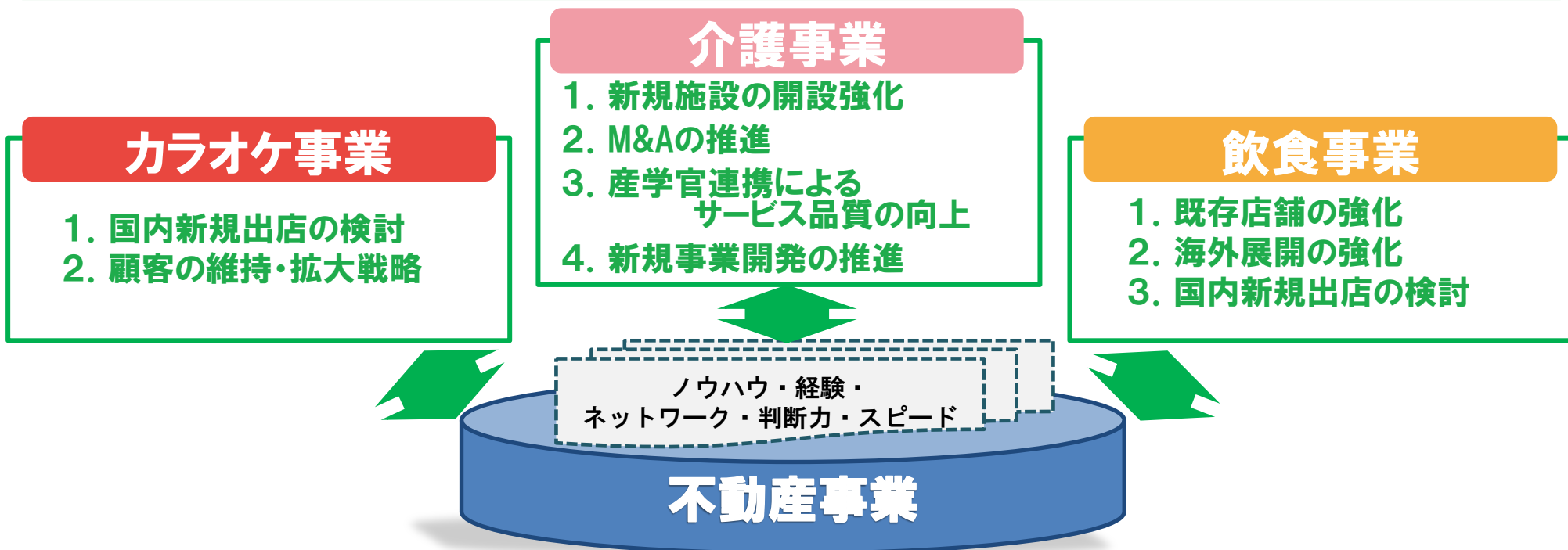
Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況

1. 新中期経営計画の位置づけ



2. 基本戦略

主要事業のバランスを重視した成長戦略の推進



【3事業と不動産のシナジー】

- (1) 好立地の物件情報を迅速に入手できる
- (2) 物件の良し悪しを即座に判断できる
- (3) 施設や店舗を低コストにて出店できる

3. 各事業の取り組み 介護事業①新規施設の開設強化

戦略 ①	戦略 ②	戦略 ③	戦略 ④
特定施設 の積極展開	グループホーム の展開	放課後等 デイサービスの展開	M&Aの 推進

2019年3月期以降 開設計画 (トータル 338床、30名)

2018年 5月開設	さわやかおかざき館 さわやか愛の家おかざき館 (愛知県岡崎市)	介護付き有料老人ホーム ショートステイ 放課後等デイサービス	41床 9床 10名
2018年 5月開設	さわやか愛の家しものせき館 (山口県下関市)	放課後等デイサービス	10名
2018年 6月開設	さわやかひめじ館 (兵庫県姫路市)	介護付き有料老人ホーム	50床
2018年 6月開設	さわやか桜参番館 さわやか愛の家さくら館 (秋田県秋田市)	介護付き有料老人ホーム 放課後等デイサービス	29床 10名

2018年 11月開設予定	さわやかあびこ館 (千葉県我孫子市)	介護付き有料老人ホーム	50床
2019年 3月開設予定	さわやかグループホーム なすしおばら (栃木県那須塩原市)	グループホーム	18床
2019年 3月開設予定	さわやかそう花の里 (埼玉県草加市)	介護付き有料老人ホーム	61床
2019年 9月開設予定	さわやか神戸西館 (兵庫県神戸市)	介護付き有料老人ホーム	80床

3. 各事業の取り組み 介護事業②M&A

- 2017年10月「さわやかグループホームはなみずき」(千葉県千葉市) をM&Aにより取得

【介護業界の特徴と事業環境】

- 介護業界には業界内外の多くの事業者が参入し、競争が激化するとともに、サービス面や体制面で事業者間格差が生まれてきている
- 通常3年ごとに介護保険法の改正および介護報酬の改定が行われており、これに伴う対応が不可欠
- 介護サービスのほとんどにおいて、有資格者によるサービスが義務付けられており、介護市場の拡大に伴って有資格者に対する求人が増加し優秀な人材の確保が難しい状況が出てきている
- 介護施設立上げのための初期費用が、他の事業に比べて大きい

こうした状況から、経営不振に陥る介護施設が全国的に増加する傾向へ

【当社グループの基本方針】

施設が持つ潜在力を的確に見極め、当社グループの運営・管理ノウハウによって改善が見込まれる施設をM&Aにより取得



さわやかグループホームはなみずき

3. 各事業の取り組み 介護事業③開設事例

事業所内に保育園を併設した事業所を開設

従来から、入居者様の“生きがづくり”の一環として、近隣の幼稚園・保育園など地域社会との交流を重視

交流機会の拡大に向け、事業所内に保育園を併設

さわやかシーサイドくきのうみ（福岡）…2017年6月開設



- ◆介護付有料老人ホーム(80床)
 - ◆ショートステイ(10床)
 - ◆保育園(定員19名)
- 福岡県北九州市若松区
TEL:093-752-5400



さわやかひがしおおさか館（大阪）…2018年2月開設



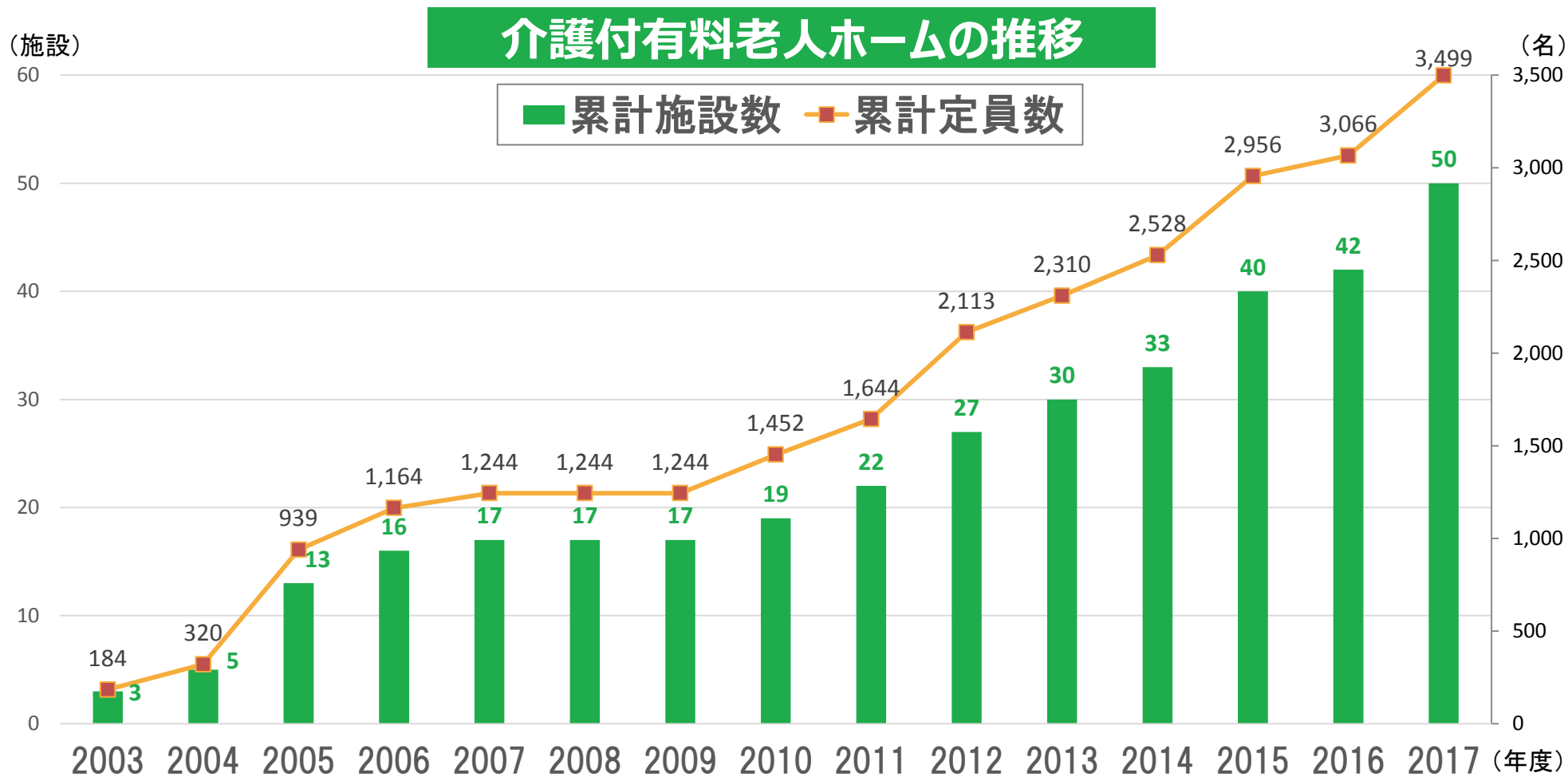
- ◆介護付有料老人ホーム(94床)
 - ◆ショートステイ(31床)
 - ◆保育園(定員19名)
- 大阪府東大阪市
TEL:06-6729-5546



2018年4月より認可保育園として運営スタート

3. 各事業の取り組み 介護事業④着実な拡大

2015年度以降、年平均5.6施設を開設し急速な事業拡大を図る



3. 各事業の取り組み 介護事業⑤ さわやか愛の家

介護事業における新規事業の推進

障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス 「さわやか愛の家」

- 障がいのある子どもたち（6～18歳）に対し、放課後や長期休暇中において療育の場を提供
⇒ 日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等
- レスパイトケア：ご家族に代わり一時的にケアを代替することで、日々の疲れ等をリフレッシュしていただく家族支援サービス

2018年3月現在
16事業所
(生活介護・相談室含む)

目標：年10事業所開設

【当期】
7事業所を開設
(福岡県2事業所、岡山県4事業所、
愛媛県1事業所)

【次期】 展開エリア拡大

2018年 5月開設	さわやか愛の家おかさぎ館 (愛知県岡崎市)
2018年 5月開設	さわやか愛の家しものせき館 (山口県下関市)
2018年 6月開設	さわやか愛の家さくら館 (秋田県秋田市)



「さわやか愛の家 あかいわ館」
(2017年11月1日開設)



「さわやか愛の家 かんた館」
(2017年8月1日開設)



3. 各事業の取り組み 介護事業⑥産学官連携

【事例-1】 口腔ケアのQOL向上 等に向けて

ウチヤマホールディングス

(公大) 九州歯科大学

(公財) 北九州産業学術推進機構

【目標】

- 産学官連携推進により、医療・介護分野における新たな研究成果の開発を行う
- 先端的かつ幅広い視野を有する人材の育成、新規技術の創出を目指す

【主な連携内容】

- 口腔ケア分野において、より質の高いサービス提供とQOL(生活の質)向上に繋がる取り組みを更に推進
- 社内資格として口腔ケア認定士を新設

【事例-2】 革新的イノベーション に向けて

ウチヤマホールディングス

(国大) 九州大学

(公財) 北九州産業学術推進機構
(一社) 生き方のデザイン研究所

【目標】

- 高齢者に関わる様々な気づきを対話によって収集・分析し、高齢化社会の重要課題を発見する
- アイデアの可視化・共有化を行い、事業化に結びつける
- 「生きがいづくり」をテーマに入居者の今後の目標などを考え、実現することで「新たな人生をデザイン」していく

【主な連携内容】

- 弊社施設において、各機関が参画・連携し革新的なイノベーション拠点の創出を行う

【事例-3】 ITやロボット技術活用 に向けて

ウチヤマホールディングス

(国大) 九州工業大学

(公財) 北九州産業学術推進機構

【目標】

- 医療・介護分野において、情報通信やロボット技術を活用することで、施設におけるサービスの質的向上や業務軽減につなげる

【主な連携内容】

- 当社施設においての情報処理技術やセンシング技術を活用した実証実験の展開により、安全な介護を探求して行く

3. 各事業の取り組み 介護事業⑦インドネシア合併会社設立

■職業訓練校の設立

2017年11月「外国人技能実習制度」改正

対象職種に介護職種等も加わり、より幅広い職種の技能実習生の受入が可能に

【当社グループの取り組み】

インドネシアにて現地の情報を豊富に有するPT.FUJINDO
SERVIS INDONESIAと合併会社を設立し、日本企業へ優秀な
人材を送り出す職業訓練校を2018年6月設立予定



●今後の展開

介護職種だけではなく、多岐にわたる技能実習生を対象とした人材の育成と
来日後のフォローを展開

3. 各事業の取り組み カラオケ事業

戦略

ドミナント化による地域一番戦略

4大都市圏での出店

カラオケ事業
店舗数の推移

2017年3月末(実績)

96店舗

△4

2018年3月末(実績)

92店舗

△2

2019年3月末(見込み)

90店舗

カラオケ店舗の展開状況 (2018年3月末現在)



今後の戦略ポイント

- ① 特長を生かした既存店の集客UP
- ② 不採算店のスクラップ
- ③ 既存店のリニューアル

基本的な特長

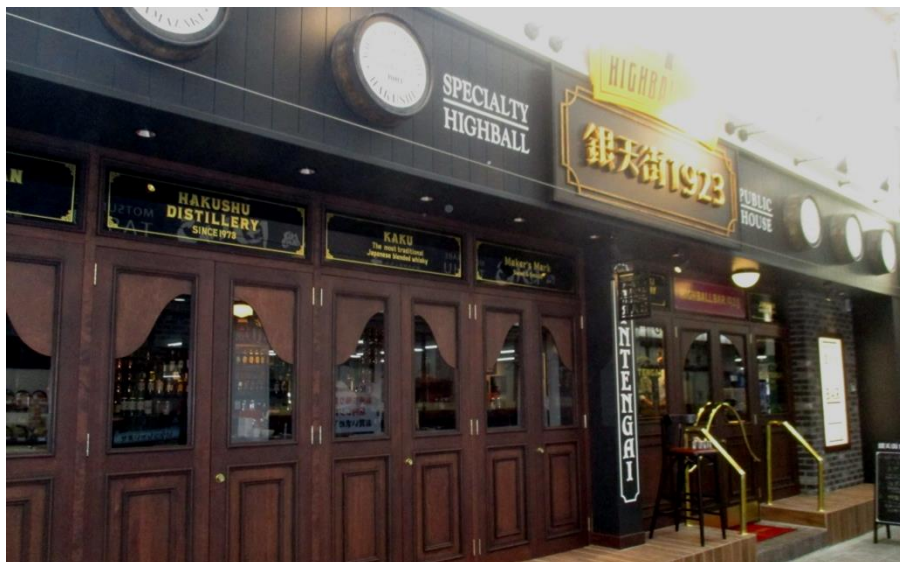
- 1店舗当たりのボックス数は30室程度
- カラオケは常に最新機種を装備
- 明るい雰囲気、安心感、安全性
- 豊富な食事メニュー
- シニア層向けの割引サービスを実施
- さわやかゴールドメンバーカード
- さわやかモーニングパック



3. 各事業の取り組み 飲食事業

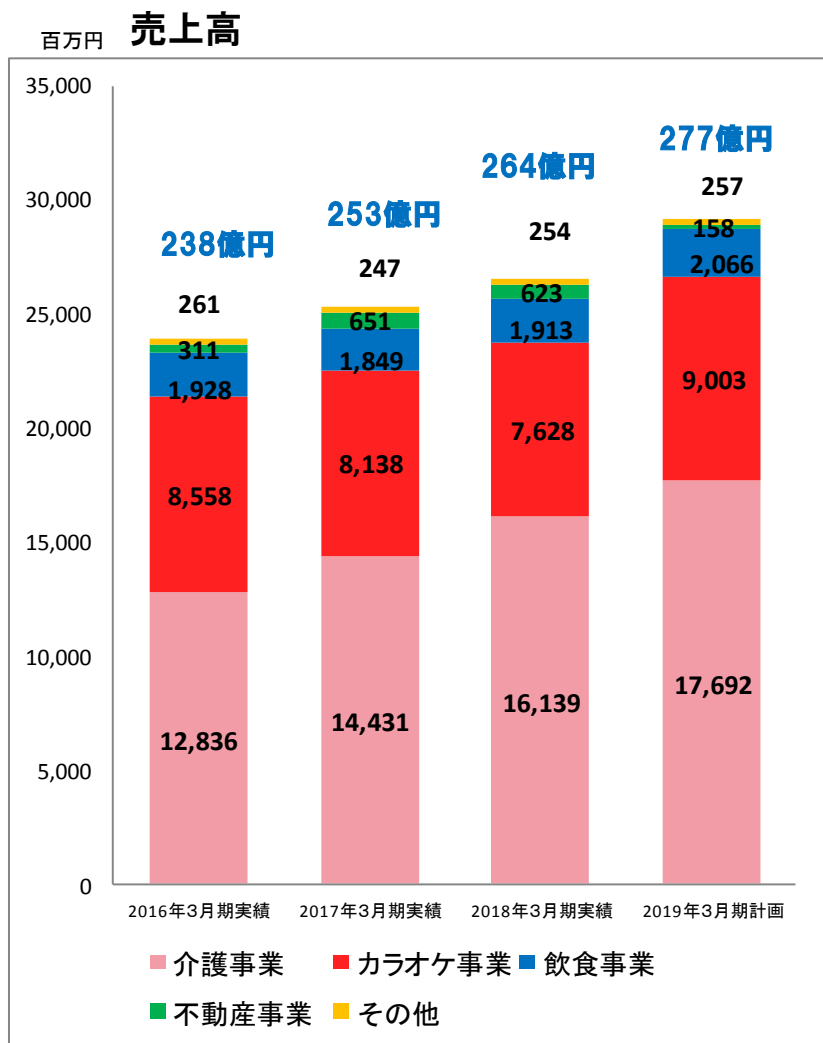


「ハイボールバー銀天街 1923」 北九州市に初登場！



- 居酒屋「小倉再生酒場」(北九州市)の業態変更によるリニューアルオープン
- サントリーがプロデュースする「ハイボール専門店」
- 全国11号店目となる店舗

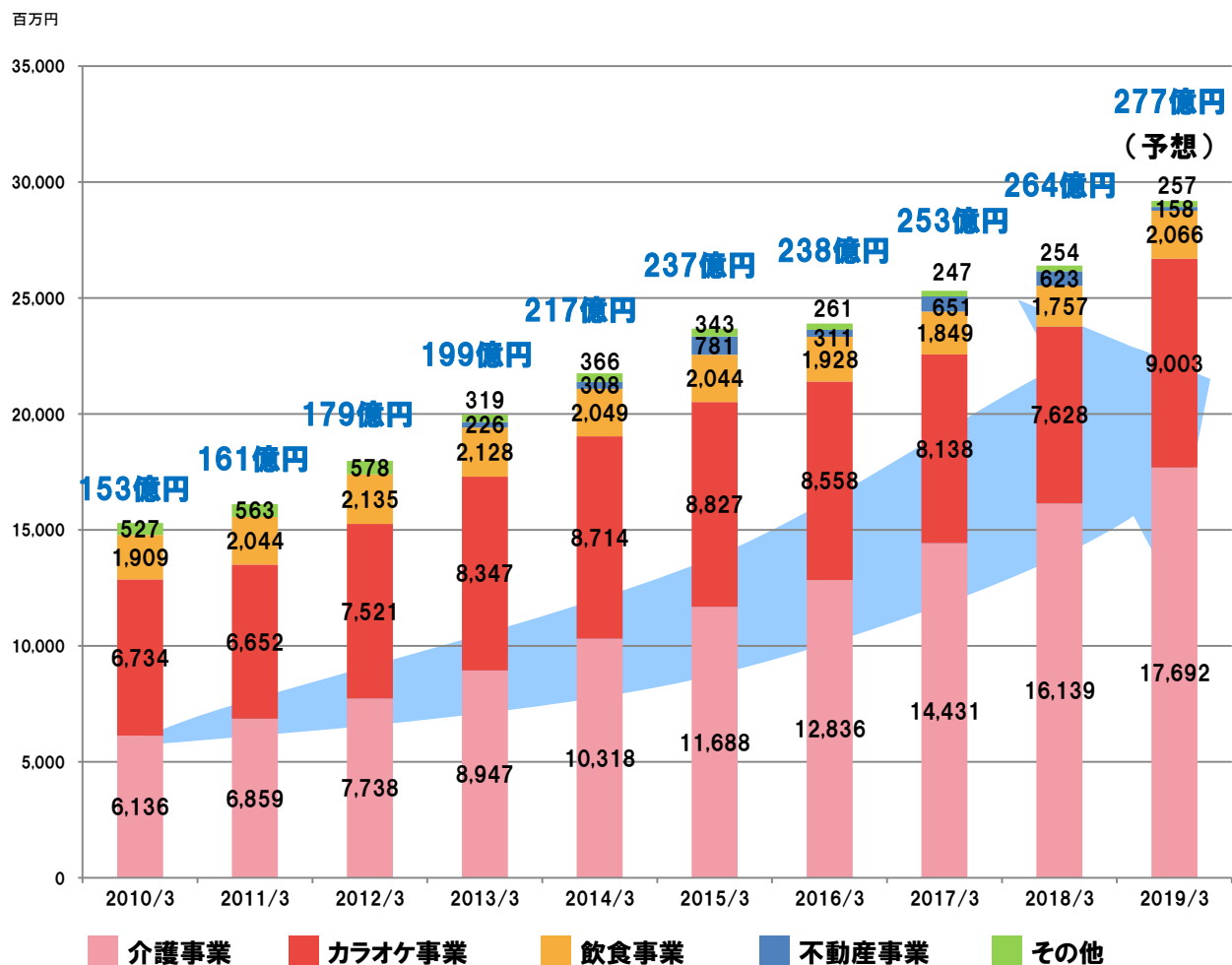
4. 中期経営計画 定量目標



連結	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 計画
売上高 (百万円)	25,318	26,402	27,781
営業利益 (百万円)	777	1,191	1,318
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	59	808	881
親会社株主に帰属する 当期純利益率(%)	0.2	3.1	3.2
総資産回転率	0.83回	0.87回	1回以上
財務レバレッジ	2.0倍	1.9倍	2倍程度
R O E (%)	0.4	5.4	5.0以上
配当の方針	安定配当 10円/年	安定配当 10円/年	安定配当 10円/年

※総資産回転率＝売上高/総資産、財務レバレッジ＝総資産/自己資本

5. 長期ビジョン



長期ビジョン

【連結売上高】
1,000億円

【連結営業利益】
100億円
を目指す

ご清聴ありがとうございました





【参考資料】

社名	株式会社ウチヤマホールディングス
本社	福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10
設立	2006年10月（前身は1971年6月）
代表者	代表取締役社長 内山 文治
連結従業員数	正社員2,028名、パート・アルバイト等2,384名 合計4,412名（2018年3月末）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 介護事業● カラオケ事業● 飲食事業● 不動産事業● その他(ホテル)

●●●▶ 当社グループの歩み

Foundation: 不動産事業の開始

1971年 6月 不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

カラオケ事業スタート

1991年 4月 福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス1号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

飲食事業スタート

1995年 11月 福岡県北九州市小倉北区に飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店

介護事業スタート

2003年 4月 介護付有料老人ホーム及びデイサービスの併設施設「さわやかパークサイド新川」を福岡県北九州市戸畑区に開所

2004年 12月 介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立

2005年 11月 株式会社コウノを存続会社として関連会社6社を吸収合併し、株式会社ボナー（現 株式会社ボナー）に商号変更

Constitution: ウチヤマホールディングス設立

2006年 10月 福岡県北九州市小倉北区に株式移転により、株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立(資本金285百万円)

2008年 7月 株式会社さわやか倶楽部にて、ホテルと住宅型有料老人ホームの併設施設『さわやかハートピア明礬』を開所

2010年 5月 株式会社さわやか天の川にて、大阪府枚方市に介護付有料老人ホーム『さわやか枚方館』を開所

Further growth: 上場

2012年 4月 大阪証券取引所（現 東京証券取引所）JASDAQ市場（スタンダード）に株式を上場

2013年 12月 東京証券取引所市場第2部へ市場変更

2014年 8月 タイ王国にボナータイランドを設立

2014年 9月 東京証券取引所市場第1部指定

2014年 11月 タイ1号店「かんてきやスクンビット店」オープン

2015年 11月 障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所

2016年 9月 訪問看護事業「さわやか訪問看護ステーション八幡」を開所

2018年 6月 インドネシアに職業訓練校を設立

ウチヤマグループの概要

持株会社体制（2006年10月～）

㈱ウチヤマホールディングス

連結会社

㈱さわやか倶楽部

非連結

PT. Sawayaka Fujindo Indonesia

連結会社

㈱ボナー

Bonheure (Thailand) Co., Ltd.
KANTEKIYA(THAILAND)CO.,LTD.

介護事業

その他
(ホテル事業)

不動産事業

カラオケ事業

飲食事業

有料老人ホーム(介護付&住宅型)、グループホームの入居及び各介護サービスの提供等

ホテル事業における宿泊と飲食、サービスの提供

不動産事業における賃貸・管理・仲介・売買業務

カラオケボックスの部屋の提供及び飲食の提供等

複数のコンセプトの居酒屋を運営・展開、顧客層に応じた飲食、サービスの提供

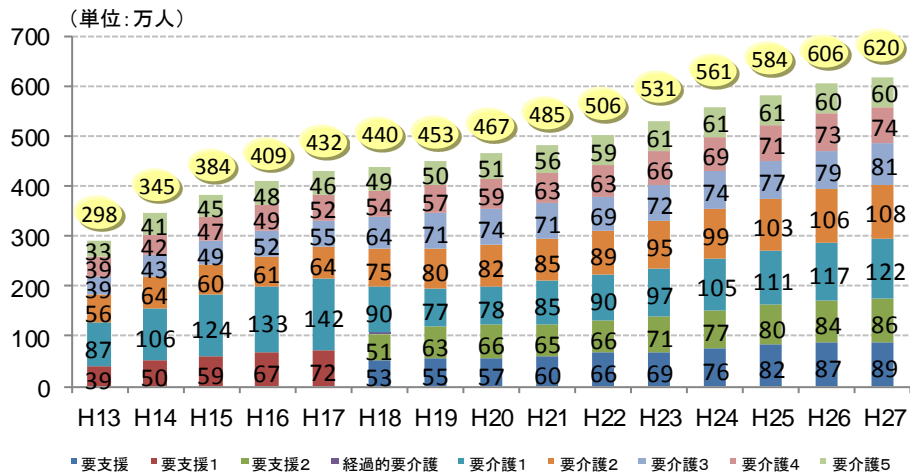
入居者様・利用者様・お客様

※1 Bonheure (Thailand) Co., Ltd及びKANTEKIYA(THAILAND)CO.,LTDは、タイにおける合併会社であり連結会社。

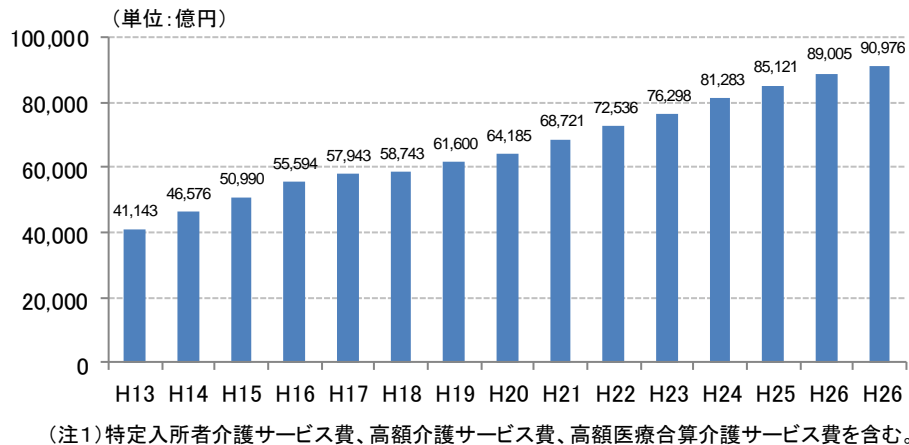
※2 PT. Sawayaka Fujindo Indonesiaは㈱さわやか倶楽部出資(60%)のインドネシアにおける合併会社であり非連結。

介護市場の動向(1)

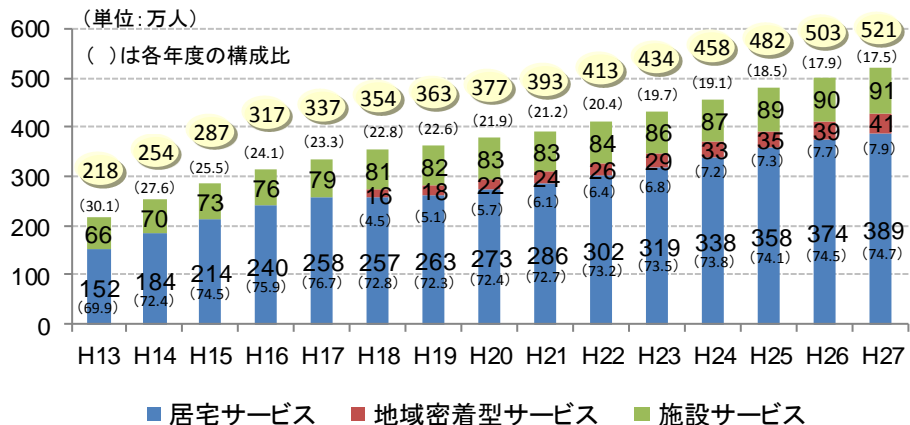
要介護(要支援)認定者数



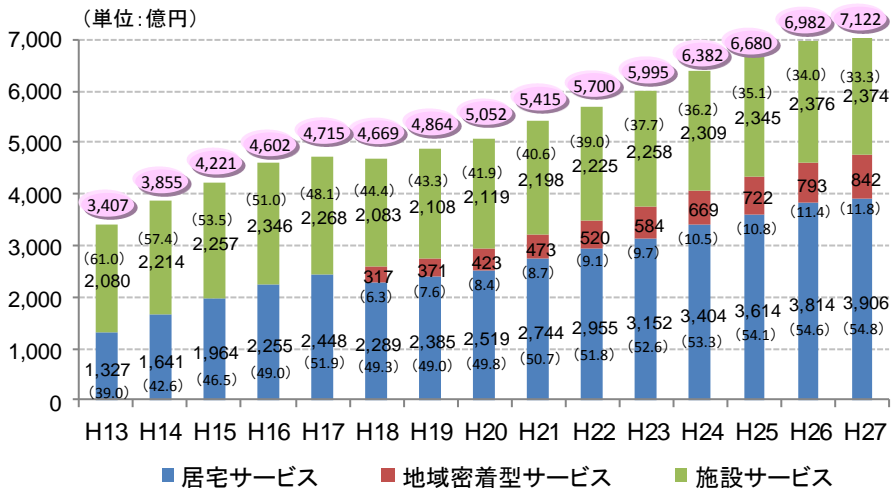
(参考1)年度別介護サービス給付費の推移



介護サービス受給者数(1ヶ月平均)



(参考2)年度別(居宅、地域密着、施設別)介護サービス給付費の推移



(注1) 各年度とも3月から2月サービス分の平均。ただし平成12年度は、4月から2月サービス分の平均。

(注2) 平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。

(注3) 受給者数は、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス間の重複利用がある。

(出所) 厚生労働省「介護保険事業状況報告(平成27年度版)」※東日本大震災の影響により、H22はすべて福島県内5町1村の数値が含まれていない

(注1) グラフの数値は各年度における月平均値。()は各年度の構成比。

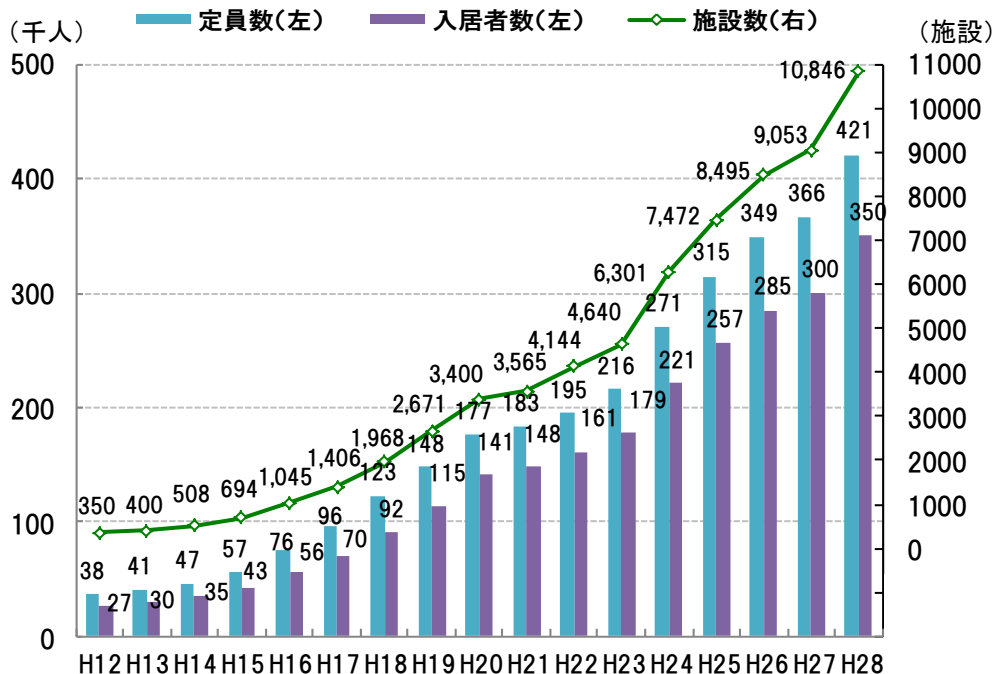
(注2) 特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含まない。

介護市場の動向(2)

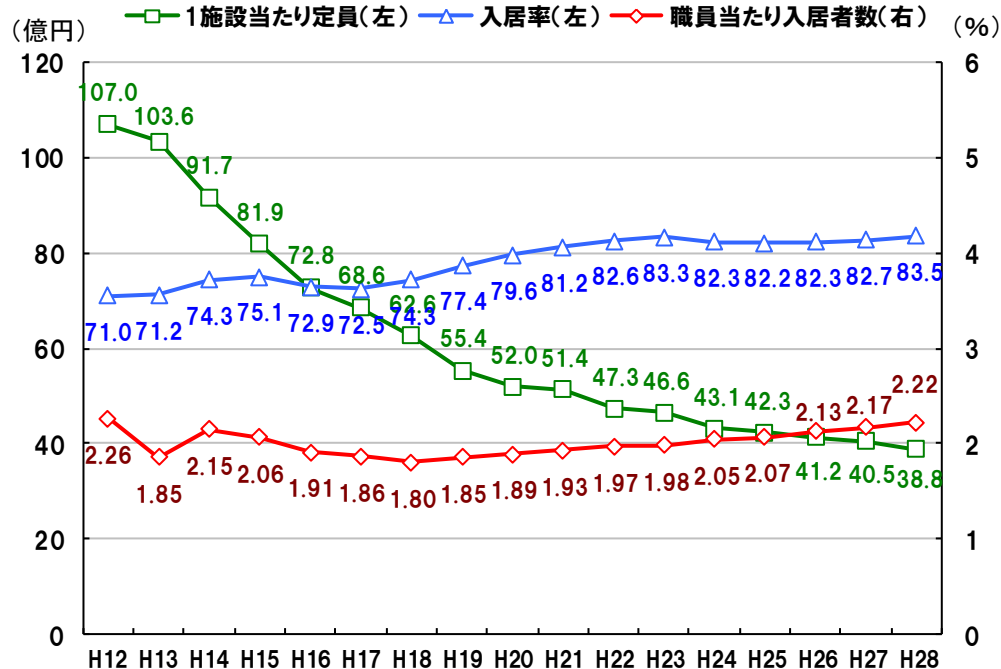
介護保険法施行(2000年)後、急拡大を続けてきた有料老人ホーム市場は、引き続き堅調に拡大

施設規模は縮小傾向にある一方、人員効率は緩やかに改善

有料老人ホーム市場の推移①



有料老人ホーム市場の推移②



※各年10月1日現在 ※職員数は常勤換算
(出所) 厚生労働省「平成28年度社会福祉施設等調査」

※職員当たり入居者数=入居者数/常勤換算職員数
(出所) 厚生労働省「平成28年度社会福祉施設等調査」

●●●▶ 介護市場の動向(3)

- 参酌標準が撤廃され、各地域の自治体での介護施設策定計画の自由度が増加
- 各地域の自治体の実情に応じた基盤整備が進んでいくと想定

平成18年4月 介護保険法の改正

- ⇒ 各自治体が**特定施設の新規開設を制限**することが可能に
- ⇒ 新規開設を制限する際の根拠として、**参酌標準**が使用される

平成22年 行政刷新会議

- ⇒ **参酌標準の平成24年度からの撤廃**を決定

各地域の自治体が地域の実情に応じて**特別養護老人ホーム等**の介護施設を整備可能

- ⇒ **各地域の実情に応じた基盤整備**が進んでいくと想定
- ⇒ 市町村との繋がりを密にし、**公募等情報の適時把握**が肝要

(特定施設とは)

都道府県から「特定施設入居者生活介護」の指定を受けて、以下に入居された利用者に介護サービスを提供する事業所を指す。

1. 有料老人ホーム
2. 養護老人ホーム
3. 軽費老人ホーム(ケアハウス)
4. サービス付き高齢者向け住宅

(参酌標準とは)

各市町村が介護保険事業計画を策定する際に、各種サービス見込み量を定めるに当たり参酌すべきものとして、厚生労働大臣が示す目安。

具体的には、「介護保険三施設、グループホーム、介護専用型特定施設の利用者数を、要介護2~5の高齢者数の37%以下とする」というもの。

第5期介護保険事業計画期間(平成24~26年度)から撤廃される。

介護市場の動向(4)

※青字は当社の事業領域

	対象	都道府県が指定・監督	市町村が指定・監督
介護給付サービス	要介護1・5	<p>◆居宅サービス</p> <p>【訪問サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○訪問介護(ホームヘルプサービス) ○訪問入浴介護 ○訪問看護 ○訪問リハビリテーション ○居宅療養管理指導 <p>○特定施設入居者生活介護</p> <p>○特定福祉用具販売</p> <p>◆居宅介護支援</p> <p>◆施設サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護老人福祉施設(特養) ○介護老人保健施設 ○介護療養型医療施設 <p>【通所サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通所介護(デイサービス) ○通所リハビリテーション <p>【短期入所サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○短期入居生活介護(ショートステイ) ○短期入所療養介護 <p>○福祉用具貸与</p>	<p>◆地域密着型サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夜間対応型訪問介護 ○認知症対応型通所介護 ○小規模多機能型居宅介護 ○認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ○地域密着型特定施設入居者生活介護 ○地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
予防給付サービス	要支援1・2	<p>◆介護予防サービス</p> <p>【訪問サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問入浴介護 ○介護予防訪問看護 ○介護予防訪問リハビリテーション ○介護予防居宅療養管理指導 <p>○介護予防特定施設入居者生活介護</p> <p>○介護予防特定福祉用具販売</p> <p>【通所サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防通所リハビリテーション <p>【短期入所サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防短期入居生活介護(ショートステイ) ○介護予防短期入所療養介護 <p>○介護予防福祉用具貸与</p>	<p>◆地域密着型介護予防サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防認知症対応型通所介護 ○介護予防小規模多機能型居宅介護 ○介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム) <p>◆介護予防支援</p>

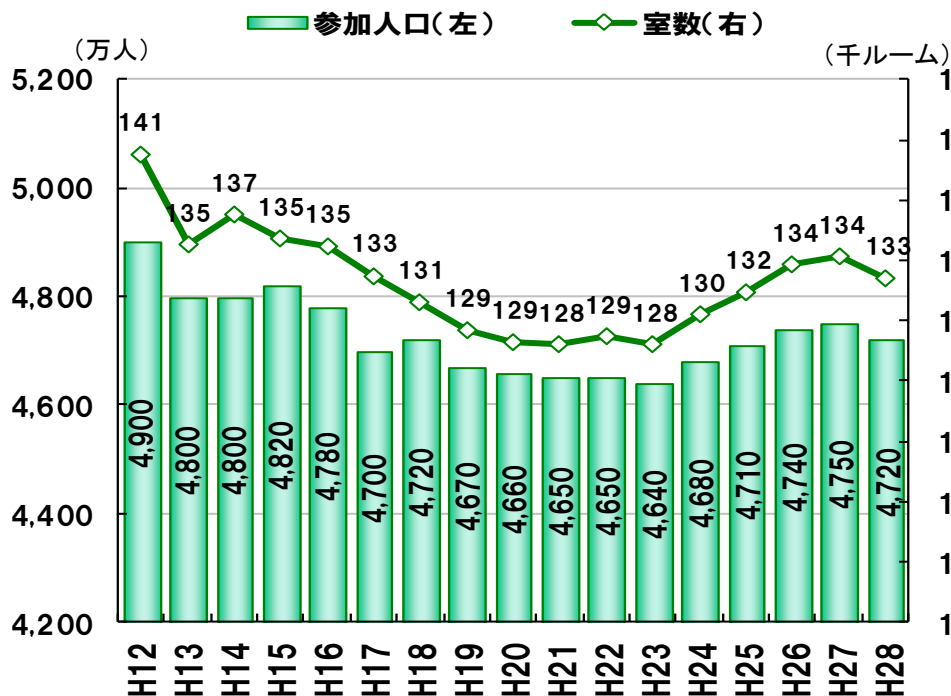
介護市場の動向(5)

	施設・事業所の概要	特定施設の指定の有無
		介護サービス提供主体
介護付 有料老人ホーム	介護が必要になっても、入居施設が提供する介護サービス等を利用しながら居住継続が可能。	○(特定施設) 施設内の職員
住宅型 有料老人ホーム	生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。施設内に介護提供体制を整備する義務はない。	×(特定施設でない) 外部の介護サービスを自身で選択
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症など的高齢者が一般の住宅で地域社会に溶け込みながら生活することを目的とする。	
短期入所生活介護 (ショートステイ)	介護を受ける高齢者が短期間入所し、食事や入浴といった日常生活全般の介護、機能訓練などを提供。	
通所介護 (デイサービス)	在宅での介護を必要とされる高齢者を対象に入浴や体操・レクリエーションなどの各種サービスを提供し、自立を支援する。	
訪問介護 (ヘルパーサービス)	ホームヘルパーが自宅に伺って、介護を必要とされる方の日常生活の手伝いを行う。	
居宅介護支援 (ケアプラン作成)	どのような介護サービスをいつ、どのくらい利用するのが良いか、高齢者にとって最適となるケアプランを作成。	
小規模多機能型 居宅介護	「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を柔軟に組み合わせ、介護度が中重度となっても在宅での生活が継続できるように支援していくサービス。	
訪問看護	医師の指示に基づき、看護師が家庭に訪問し、病状や療養生活を看護の専門家の目で見守り適切な判断に基づいたケアとアドバイスをを行う。	
福祉用具サービス	高齢者の身体状況や住宅環境に合わせ、自立支援をサポートするための福祉用具をレンタルおよび販売にて提供。	

カラオケ・飲食市場の動向

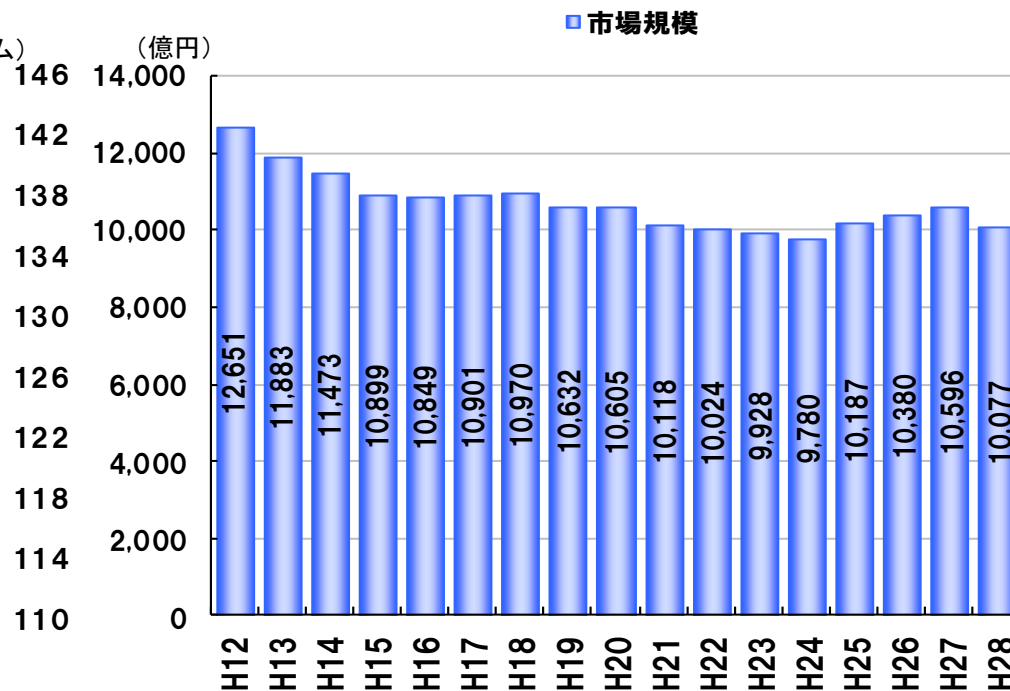
カラオケ市場・飲食市場ともに、市場規模の拡大は期待できない
⇒既存エリアでのドミナント化を推進

カラオケ市場の推移



(出所) 全国カラオケ事業者協会「カラオケ白書2017」

居酒屋・ビヤホール等市場の推移



(出所) 外食産業総合調査研究センター
「平成28年外食産業市場規模推計について」

■ 産学官連携の概要

【九州工業大学】

IoTによる行動認識実証実験および記録の電子化について

【九州大学】

デザインとの融合による新しい高齢者施設づくり
～ケアプランからライフプランへ～

【九州歯科大学】

高齢者支援学講座と口腔ケア認定士制度について

株式会社さわやか倶楽部



九州工業大学との取組み「さわやか海響館」



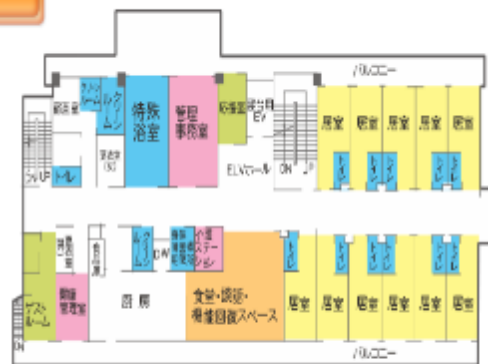
北九州市若松区にある全65床の介護付有料老人ホーム

- 1Fがエントランス
- 2Fは居室の他に事務室や健康管理室、厨房があります。
- 3F～5F居室、フロアには食堂兼機能訓練（リハビリ）スペースがあります。
- 6Fが展望バルコニーとなっています。



昨年度に引き続き「さわやか海響館」にて、5/1より本実験をスタート。昨年度から新たな機能を追加し、業務効率化への取り組みを行っています。

2F

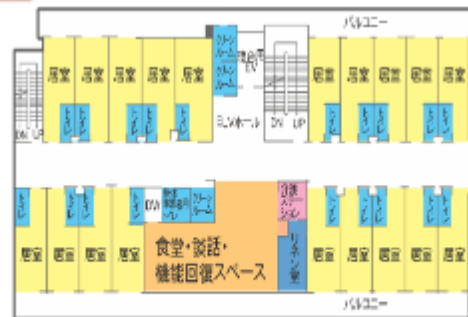


入居者数

2F : 11名

3F
-5F

※3Fは大浴場・4Fは浴室がございます。



3F : 17名

4F : 18名

5F : 19名

●●●▶ 昨年度の実験概要と実証実験の様子



介護スタッフの行動センシングによる行動認識

- 介護、看護職員がスマートフォンを携帯し自身の一日の業務タスクを記録
- 同時に、職員の胸に小型のセンサを取り付け、業務中の加速度等のデータを取得
- また、各居室・フロア等にセンサを設置し温度や照度等のデータを取得

九州工業大学・IDCFによってデータを解析し結果を施設へフィードバック



●●●▶ 昨年度の実験の考察(抜粋)



記録業務の効率化による業務改善への期待

記録業務が稼働総合トップ
(介護・看護業務の12.0%)

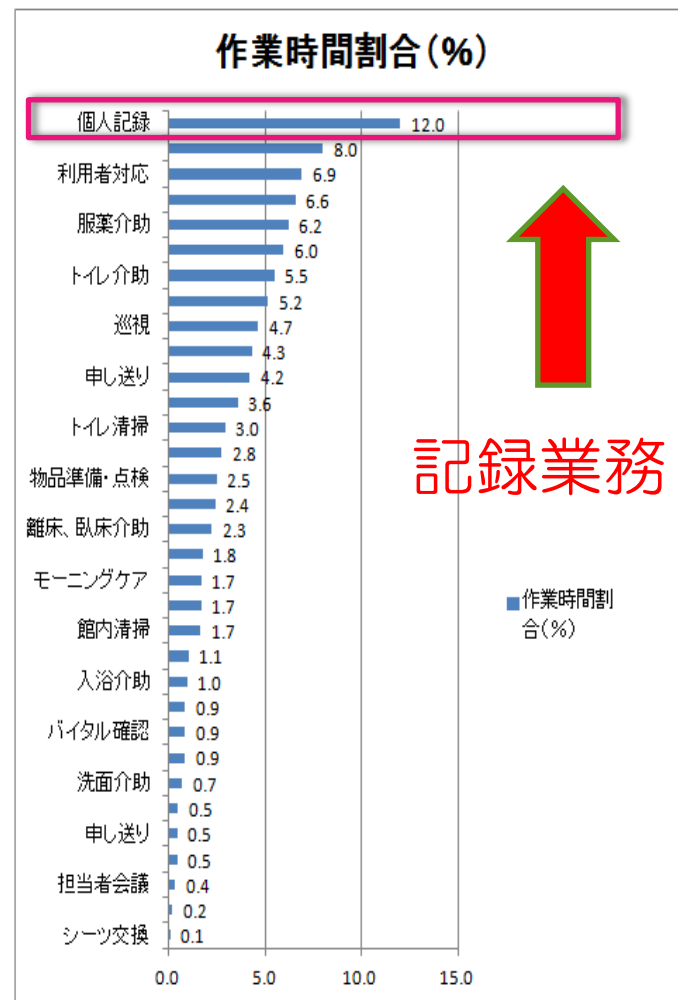


記録業務時間を半分【50%】に短縮できれば、

1名の職員が一日の記録業務にかかる時間は
 $8【時間】 \times 12.0【\%】 = 0.96【時間】$

1日20名の職員の記録業務短縮で生まれる時間は
 $20【人】 \times 0.96【時間】 \times 50【\%】 = 9.6時間【時間】$

施設全体で一日当たり9時間も新たなサービス提供が行える
(言い換えると職員が1名減っても現行のサービスが行える)



今年度の実験概要と実証実験の様子

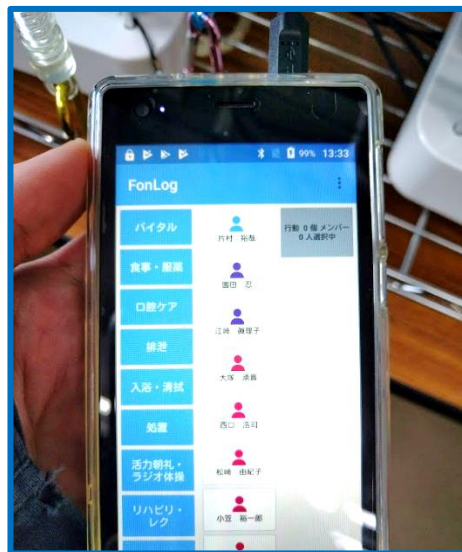


今年度は行動認識アプリに**介護記録機能**を追加

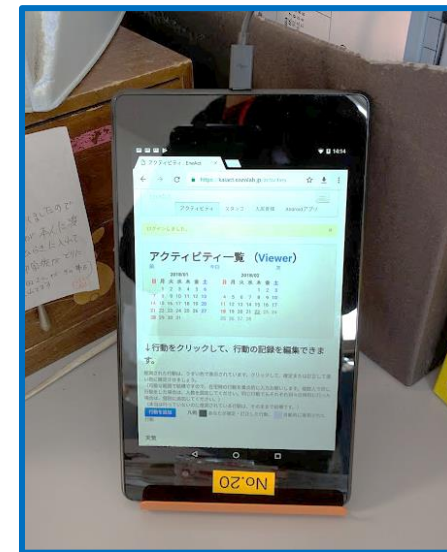
昨年度は職員が行う業務項目をスマホで入力するだけでしたが、今年度は同じアプリ上で利用者様の介護記録もできるように改良しました。



さわやか倶楽部の希望を取り入れて、
九工大と独自の介護記録アプリを開発



スマートフォン



タブレット

スマホ上で記録を入力し、
ケア記録などの帳票は
タブレットやPCで確認
できます。

今年度の実験概要と実証実験の様子



他の介護記録アプリにはない **シンプルなし** を追求

自分専用のスマホにて「誰に（対象者）」「何を（業務内容）」したかを入力するだけでOK。詳細内容も別途入力することが可能。昨年度同様に、自分が1日でどの業務にどのくらいの時間をかけているのかも分かります。さらにセンサの情報から位置情報や加速度などの情報も収集できます。



- ① 詳細を記録する他、「**カメラ**」で写真を記録できます。
- ② 音声入力も可能です。
- ③ 複数の利用者様をまとめて登録できます。



今年度の実験概要と実証実験の様子

各フロアのタブレットでどこでも帳票が確認できる

スマホで入力した内容は以下のような帳票に反映されます。
各フロアに設置しているタブレットや事務所PCで記録内容が確認できます。

(現在、手書きを廃止して電子化した帳票は4種類、今後増やしていく予定です。)

ケア記録 事業所名: さわやか海響館 2018年

居室: 202 氏名:

- 熱計表
- バイタルチェック表
(食事チェック表)
- 排泄チェック表

● ケア記録
← 表示例

日付	開始	ケア 方 ン	内容	記録者
2018/05/30	00:58		【夜間利用者対応】種別: 巡視, 対応内容: 利用者の様子, <特記事項> 居室にて良眠される	大塚 湧貴
2018/05/30	01:07		【排泄】排泄方法: トイレ, 排泄介助: 一部介助, 種類: 排尿,	大塚 湧貴



記録アプリの試験導入に伴う現場職員による声



スマートフォンでの記録入力に、初めは戸惑いましたが、繰り返し使う内に慣れ、転記が必要ない分、手書きより時間短縮できているように感じます。いつでも、どこでも記録ができるのが良いですね。

介護リーダー

看護記録は長文になることもあるため、音声入力ができるのは便利だと思いました。健康管理室にいながらでもタブレットで各入居者様の記録がリアルタイムに見れて良いです。申し送り機能などが充実するとより実用的になりそうです。

看護職員



今年度の実証実験への期待



九工大との行動認識 & 電子記録化実験を通して

①施設全体の業務効率化

記録の電子化に伴い、手書き記録業務における職員の負担軽減を図り、同時に各センサ情報から人員配置の最適化による業務効率化を実現する。（開発した介護記録アプリを他施設へも展開）

②各入居者様のQOLの向上

居室センサの照度・温度情報等により入居者の生活パターン把握へつなげる。事故防止や入居者に応じたQOL向上に役立てていく。

③職員の質向上によるサービスの質向上

職員ごとの各業務効率、行動傾向のデータを用いて職員教育・人材育成に役立て、サービスの質を向上する。



これからのさわやか倶楽部と介護の在り方

産学官連携により

10年後20年後の未来を想像し介護に、ICT・IoTの技術を用い業務効率化の実現を図り、介護業界の更なる発展と介護を通じた社会貢献を行っていく。



利用者様も社員も、介護に関わる
全ての人が幸せな社会を創造する！



ライフマップとは

ライフマップは、介護施設入居者の「生活の質向上」をめざして、

さわやか倶楽部と九州大学の共同研究から生まれました。

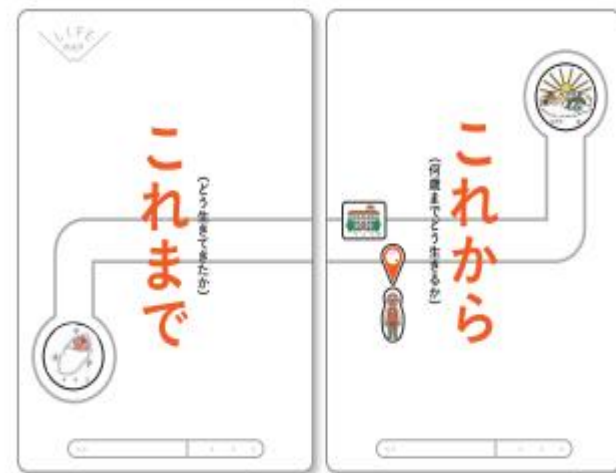
入居者様が本当に望んでいることは、なんでしょうか？

**入居者のこれまでの「思い」と
これからの「願い」**

を対話型で可視化していくツールです。

それをもとに入居者の生きがいにつながる実現可能な入居プランを作成することができます。

「これまで」と「これから」を可視化する対話型コミュニケーションツール。利用者の未来をひらく。ライフマップ





気づき

若い頃の輝いていた思いを
今でも持っているのに、
輝ける場所がないから
諦めている？

今の自分の生活に合った
楽しみで満足しようと
している？



アクション

居酒屋は難しいが、
スナックをやってみよう！

すると・・・

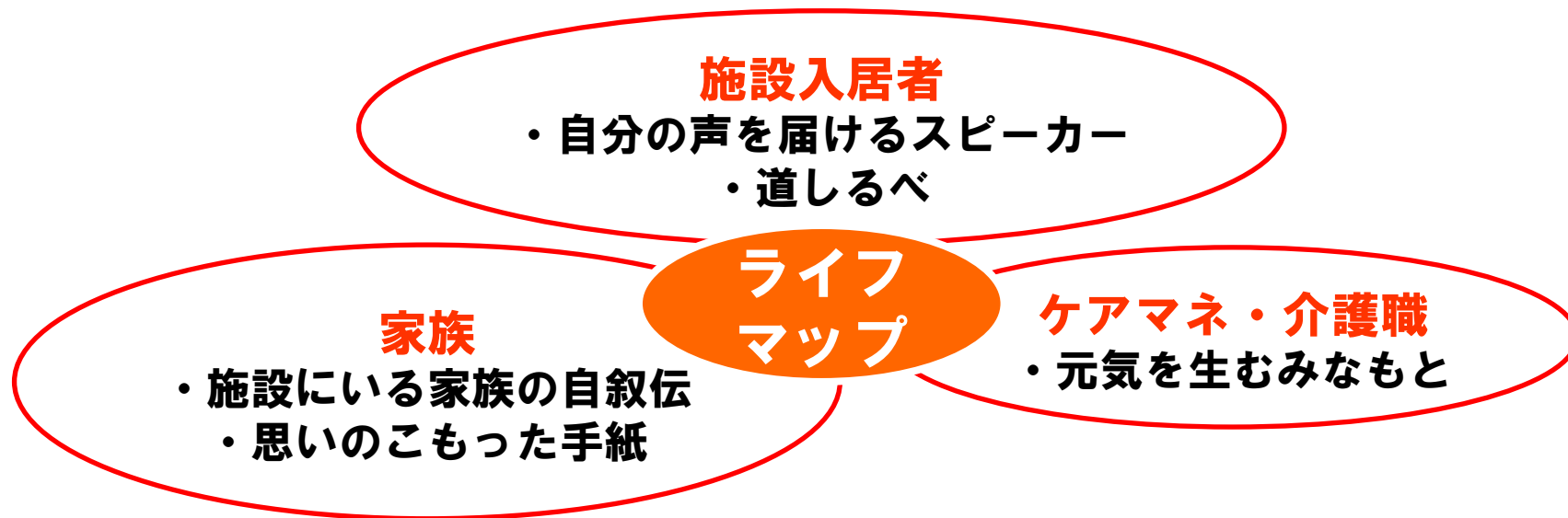


WOW!





ライフマップは、コミュニケーションが難しいひとの「思い」を誰でも可視化できるようにするツール



ライフマップは商品化しており、今後はこのツールを全国に流通させることで、“人間らしい” ケア、生きがいつくりを実現していく！



なぜ、介護施設で口腔ケアに取り組むのか？

3大死因

日本人全体		要介護者	
第1位	がん	第1位	肺炎 <u>(誤嚥性肺炎)</u>
第2位	心疾患	第2位	感染症
第3位	脳血管疾患	第3位	心不全



介護職員は、口腔ケアを

「やっている」「できている」

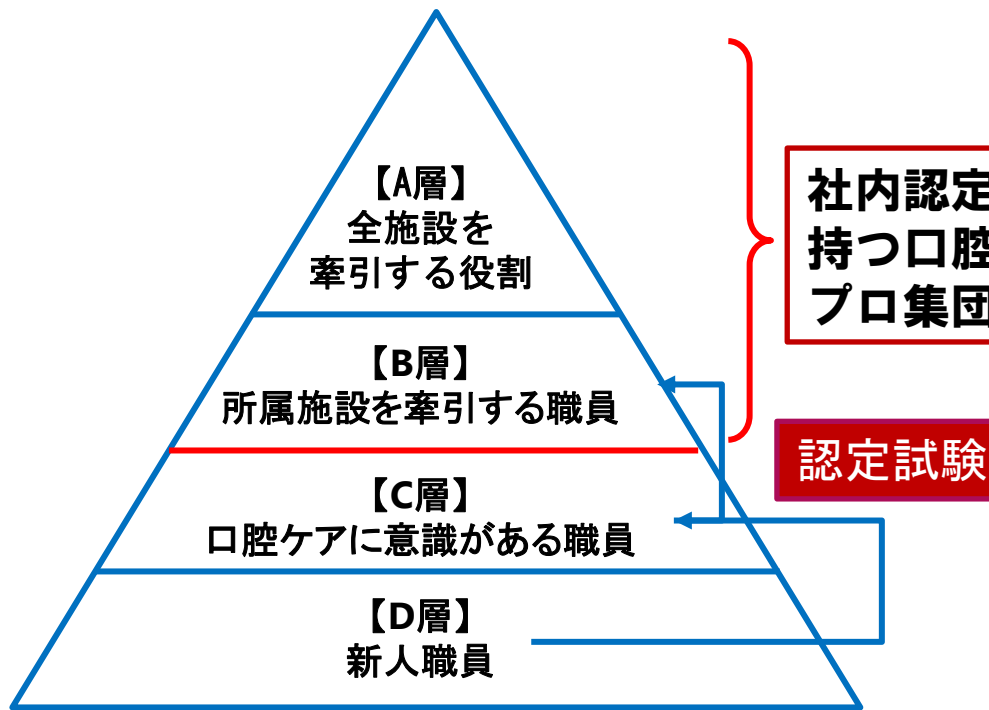
という認識

施設ラウンドによる課題抽出

改善すべき点

- 介護職の口腔ケアに関する知識のなさ
口腔ケアの専門的な知識を学ぶ機会が少なく、
磨いたつもりでも汚れが残っていることが認識できない
- 介護職の口腔ケアに関する技術の未熟さ
技術が未熟なため、口腔ケアに余計な時間がかかる

教育プログラムの構築



新人研修で基礎知識を学ぶ
→「介護基本技術テスト」で確認

教育プログラム

6つのテーマ

- 基本知識
- 歯ブラシの使い方
- スポンジブラシの使い方
- 歯間ブラシの使い方
- フロスの使い方
- 入れ歯の取り扱い

- それぞれテキスト、動画を作成→配信

社内認定制度

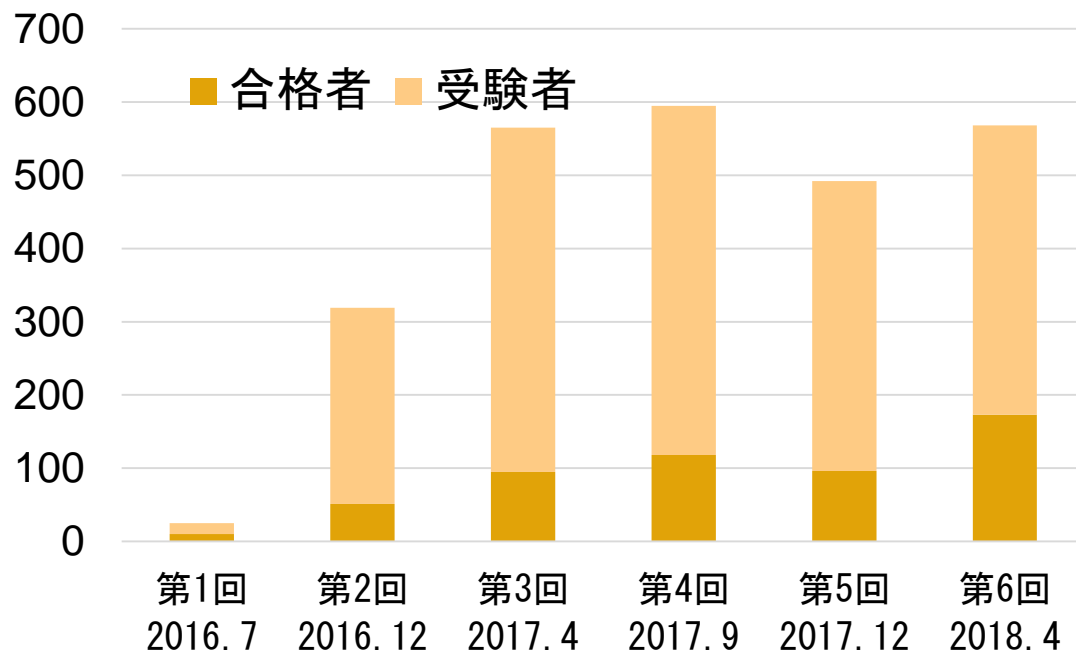
(口腔ケア認定士)

- 対象：C層（約2000名）
- 狙い：施設内で手本となり、C層を指導できる人材を育成
- 金銭的インセンティブ付与
- 試験：実技を撮影→動画で審査

社内認定制度の運用実績



受験者数/合格者数の推移



合格者

第1回： 10名	第5回： 96名
第2回： 51名	第6回： 173名
第3回： 95名	合計： 543名
第4回： 118名	

現在、口腔ケア認定士は
543名/2,021名 (26.9%) に到達

2018年4月より上位資格の
「主任口腔ケア認定士」を新設
第1回合格者は**6名 (14名受験)**

これにより

九州歯科大学	ウチヤマホールディングス
<p>【H28年度成果見込】</p> <p>・口腔ケアの質の向上に貢献(制度導入後、誤嚥性肺炎発症率が低下しており、1施設当たり24万円の利益があったと試算された)</p>	<p>【成果活用案】</p> <p>認定制度の教育プログラム推進により、 概算で1,200万円 (24万円×50施設)の利益につながる可能性がある。</p>

さわやか倶楽部がどう変わったか？

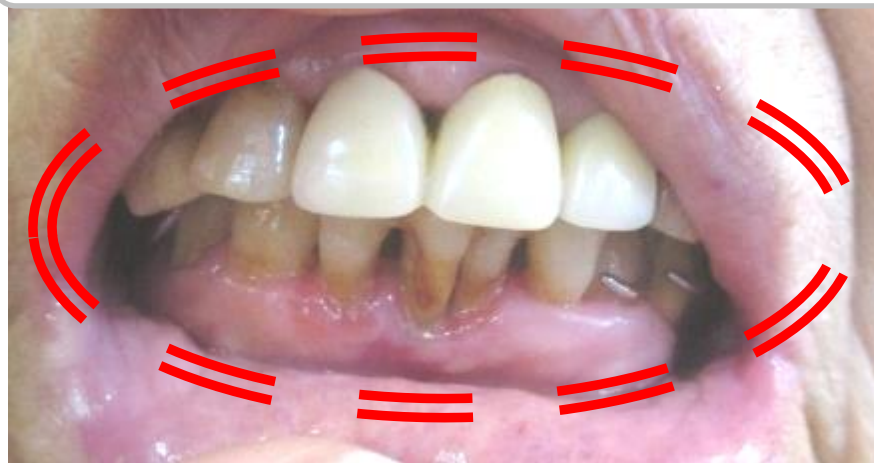


- 口腔ケアに対する意識の向上
- 口腔内の清潔が保てるようになった

プラーク・食物残渣のあった口腔内
無資格者



清潔な口腔内
有資格者



- 肺炎・誤嚥性肺炎での入院者の減少
肺炎・誤嚥性肺炎での年間入院者数
支援導入前 **18名**⇒ 支援導入後 **6名**

口腔ケアで健康と楽しみを取り戻す



元気に外食や温泉旅行を楽しんでいた頃



お元気になり念願の外食！

↓
キザミ食になった頃





- さわやか倶楽部として
3ヵ年計画で、全社員の認定資格の保持を目指す
- 肺炎・誤嚥性肺炎を減らす
3年後はゼロになるように取り組む
- 口腔内の健康を保ち、
より充実した楽しい人生を過ごして頂く

デザイン思考を用いたものづくり

- 点眼液タイプの洗口液
- 食欲増進タブレット
- 口腔ケア学習よるVR動画（3D）

